

第二十二回帝國議會 衆議院 鐵道國有法案及京釜鐵道買收法案委員會會議錄(速記)第六回

會議

明治三十九年三月十四日午前十時四十六分開議

出席委員左ノ如シ

長谷場 純孝君	山本 幸彦君	恆松 隆慶君
北村 左吉君	大野 久次君	牧野 元君
柳田 藤吉君	新井 章吾君	野田 卯太郎君
中倉 万次郎君	渡邊 修君	奧野 市次郎君
後藤 文一郎君	竹越 與三郎君	長 晴登君
高橋 安爾君	加藤 政之助君	武富 時敏君
根津 嘉一郎君	金岡 又左衛門君	鈴木 久次郎君
西村 丹次郎君	坂口 仁一郎君	村松 龜一郎君
井上 要君	西村 眞太郎君	大戸 復三郎君
藻寄 鐵五郎君	雄倉 茂次郎君	南條吉左衛門君
岡田 治衛武君	服部 小十郎君	安達 謙藏君
石塚 重平君	久保 伊一郎君	松本 恆之助君
淺野 陽吉君	菊池 武徳君	早速 整爾君
大繩 久雄君	小田 貫一君	石田 貫之助君
板東 勘五郎君		

出席國務大臣左ノ如シ

遞信大臣 山縣伊三郎君

農商務大臣 松岡 康毅君

出席政府委員左ノ如シ

遞信次官 仲小路 廉君

遞信省鐵道局長 山之内 一次君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鐵道國有法案

京釜鐵道買收法案

○委員長長谷場純孝君 是ヨリ鐵道國有法案ノ會ヲ開キマス、先刻御諮リ致シマシタ通り、先ツ此案ニ付イテ今日質問ヲ終結致シテ、明日カラ討論ニ掛ラウト思ヒマスカラ、御異議ガナケレバ左様ニ御含ヲ願ヒマス

○松本恆之助君 遞信大臣ニ御尋致シマスガ、此第一條ノ但書ニアリマス「一地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道ハ此限リニアラス」此事ニ付キマシテハ自分モ矢張疑フ抱イテ居ッタ一入デアリマスガ、此法文カラ見マスルト三十有餘含マレテ居ル小鐵道ノ中ニハ、單ニ地方ニ限ルモノモアルト云フ點カラシテ、政府ハ買收スル必要ハアルマイト云フ考ヲ持ッテ居リマシタガ、昨日政府委員ノ御答辯ニ依ッテ、此小鐵道ハ買收スベキモノト云フ御説明ガアリマシタカラ、果シテサウ云フ場合デアルトシマスルト、一昨日御渡シニナリ

マシタ參考書中ニ更ニ四五ノ小鐵道ガ出マシタガ、此小鐵道ノ買收額カラ見テモ、僅カニ二百萬圓バカリノモノガ計上サレデアリマスガ、此三十有餘ノ小鐵道ヲ買收スルト云フ場合ハ、更ニ三示サレマシタコロノ四五ノ尙小鐵道ヲ買收スル必要ハナインデアルカ、此事ガ一ツツレカラ第二ニ但書ノ事ニ付イテ、御説明ガ願ヒタイ、本案カラ見マスルト三十五年ノ下半期カラ三十八年ノ前半期間ニ於ケル建設費ニ對スル利益ノ割合トヲ建設費ニ乘ジタ二十倍デ買フト云フノガ一ノ方法、尙其二十倍ノ價格ガ建設費ニ達シナイモノハ、建設費以內ノモノデ買收スル、此二方法デアリマスガ、先ヅ鐵道ノ中デ良イ鐵道——重モニ大鐵道ハ利益ノ二十倍ト云フモノ、中デ買得ルモノデアリマセウシ、又小鐵道ノ重モナルモノハ所謂建設費以內デ協定スルコトナルト考ヘマス、ソコデサウシマスルト此大鐵道ト小鐵道ト間ニ非常ナ幸不幸ト云フモノガ起リハシナイカ、ナゼナラバ大鐵道ヲ見マスレバ、目下ノ狀況ニ於テ既ニ非常ナ盛況ヲ維持スルノミナラズ、將來益々有望ヲ以テ迎ヘラレノデアアル、之ニ反シテ小鐵道ノ重モナル中ニハ、今日ノ狀態カラ見マシテモ、非常ニ悲況ニ沈淪ヲ致シテ居ルノミナラズ、長キ將來ニ於テモ餘リ——餘リデナイ、殆ド好望ヲ以テ迎ヘラレヌ鐵道ガ多イト思ハレル、而シテ此法案ニ依リマスルト、大鐵道ハ今ノ二十倍デ買ヘルモノトシマシテ、小鐵道ハ即チ建設費以內デ買收スル場合ニ當リマシテ、ドウ云フ標準デアラウカト見マスルト、政府ガ御下ゲニナッタコロノ甲乙丙ノ參考表ノ中、所謂甲ハ利益カラ割出シ、又丙ハ建設費ヲ示サレタ、此甲ト丙ト間ノ乙ニ歸著シナイカ、此平均ヲ見テ、乙號ニ示サレタコロノ案ガ果シテ標準ニ立チ、是ノ額デ小鐵道ガ買收セラレルモノトシマシタナラバ、小鐵道ハソレデモ非常ナ利益ニ私ハナラウト思フ、此結果トシテ小鐵道ハ買收ト云フコトニハ、進ンデ之ヲ歡迎スルト同時ニ、大鐵道ノ方ハ却テ買收價格ト云フモノヲ喜バナイ——此買收ヲ喜バナイト云フ結果ニハナリハセナイカ、此大小鐵道ノ間デ、此幸不幸ノ差ガ生ズルト云フコトハ私ハ觀察スルノデアアル、此場合ニ政府ハ協定ノ上ニ於テ是等ノ幸不幸ヲ矯メルト云フコトニ付イテ、ドウ云フ御考ガアリマセウカ、ソレカラ第三ニハ鐵道ノ買收スル公債ハ、ナゼ時價ニ依ラナイカ、政府ハ此貯藏品ナリ其他借入金ノ中ニ建設費ニナッテ居ルモノハ、時價ニ依ッテ公債ヲ換算シテ交附スル、斯ウ云フコトニナッテ居リマスガ、獨リ鐵道買收費ニ對スル公債ハ、ナゼ額面丈ケニ依ルカ、若シモ公債ガ今日ノ如ク百圓以內、九十四五圓位ニナッテ居ッタナラバ、買收スルトコロノ政府ハ利ニシテ、會社ハ不利ニナリハシナイカ、最モ公平ト云ヘバ、即チ此時價ニ依ッテ下渡スコトノ必要ハアリハシナイカ、ト斯ウ思ハレマスガ、此邊ニ付イテハドウカソレカラモウ一ツハ此計算ノ一番根本ニナッテ居ル六營業年度間ノ建設費並ニ利益金ニ付イテ、御尋シタイノデアリマスガ、此六營業年度間ノ一々各鐵道ニ付イテノ利益金並ニ建設費ノ數字ヲ示サレタイノデアリマスケレドモ、餘リソレハ煩雜デアリマスカラ、此諸鐵道會社ノ中デ、最モ變動ノ多イ、即チ關西鐵道——各鐵道ヲ買收シタリ、或ハソレガ結果トシテ資本ノ増加、建設費ノ増加、又利益ノ變動ノ多イ關西鐵道ト云フモノニ付イテ、六營業年度間ノ毎年度ノ建設費ト、利益金ノ數ヲ示サレタイノデ

アル、若シ此數が萬一ニモ相違ガアルナラバ、政府ノ示サレタトコロノ案ハ、非常ニ價值ガナイ譯ニナルヲ思フ、參考ニ關西鐵道ノ丈ヲ特ニ願ヒタイノデアリマス

○政府委員仲小路廉君 松本君ノ唯今ノ御尋ニ向ッテ御返答ヲ致シマス、第一ニ御尋ノ分ハ此法案ノ第一條ノ規定ニ付イデハ、昨日來申シマス通りニ、一般運送ノ用ニ供スル鐵道ハ、國ガ持ツ、但シ地方ノモノハ必ズ國ガ持タヌ、斯ウ云フ趣意デアリマス、ソレニ付イテ御尋ノ趣意ハ、サウ云フ趣意カラ往ケバ、獨リ此三十二會社ノミデナイデナイカ、尙其外ニモ餘ッテ居ル會社ガアルガ、其分ハナゼ一所ニ纏メテ買收ヲシナイカ、斯ウ云フ御趣意ニナリマス、是ハ即チ融通ノ付イテ居ルトコロデアリマシテ、此三十二會社ノ外ノ分ハ青梅鐵道トカ、龍ヶ崎鐵道トカ、其外何レモ輕便鐵道或ハ其中一ツ現時ハサウデナイモノガアリマスガ、一體普通ノ鐵道ト違フ譯デアリマス、ソレ故ニ此輕便鐵道ナリ何ナリノ分ハ是ハ政府ハ持タナイ、斯ウ云フ趣意ニ依ッテ、政府ノ持ツベキモノハ三十二會社ト極メマシテ、其外ノモノハ此中ニ入レマシテ譯デアリマス、ソレカラ第二ノ御尋ノ趣意ハ、六營業年度及五朱以上ニ當ルモノニ付イデハ、詰リ利益ノ平均率ヲ變ヘル譯ニナル、然ルニ其條件ニ合ハナイモノ、方ガ、却テ仕合セニナルデハナイカ、斯ウ云フ御尋デアリマスガ、是ハ政府ガ六營業年度ニ滿タナイ所、及利益ガソレニ達シマセヌ分ニ付キマシテハ、結局ハ協定ニナリマスノデアリマシテ、其協定價格ノ見積ニ付キマシテ、或ハ乙、或ハ丙ト云フヤウナモノヲ立デ、見マシテノデアリマスガ、是ハ勿論丙ニ算入シマシテ分ハ、詰リ建設費ノ一坏ニ至ルベキ部分ヲ見積ッタノデアリマスガ、愈買收ノトキニ際シマシテハ、決シテサウ云フコトハ採リマセヌ積リデ、出來得ラレマス價格ニ依ッテ採ラセル積リデアリマス、唯協定價格ノ最高限ヲ見積リマシタノガ、甲デアリマス、其中位ヲ見積リマシタノガ、乙デアリマス、是ハドノ分デアルカト云フコトハ、愈協定ノ年ノ實地ノ問題デアリマス、政府ハソレニ付キマシテハ、不當ノ利益ヲ得サセマセヌ如クニ、又強チ無理ナコトハ致シマセヌ、詰リ適當ナコトヲ此協定ノ際ニ極メマス積リデアリマス、ソレカラ第三ノ此公債ヲ時價デナゼ渡サナイカ、是ハ過日カラモ再三此席デ説明致シマシタ通りニ、詰リ此建設費ニ對スル分ヲ二十倍ト見積ッタノガ、即チ五朱ノ公債ノ割合ヲ以テ見積ッタ譯デアリマシテ、之ヲ時價ニスルト云フコトハ、到底利率ノ割合カラ、サウ云フコトハ出來マセヌ、譯ニナリマス、尙此點ニ付イテハ鐵道局長ヨリ詳シク申上ゲテモ宜シウゴザイマス、ソレカラ第四ノ關西鐵道ノ分ハ、是モ同様鐵道局長ヨリ申シマス

○政府委員山之内一次君 唯今遞信次官ノ説明外ノコトハ、鐵道局長ヲシテ説明サセルト云フコトデアリマスカラ、私が説明致シマス、此何故買收ノ價格ノ額面ニ依ラザルカト云フ質問ニ付キマシテハ、實ハモウ一昨日デスカ、昨日デスカ、岡田君カラモ御話ガアリマシテ其時詳シク御話ヲシタ積リデアリマスガ、此度ノ立デマシタ原則ガ、株ノ價トカ公債ノ價トカ云フコトヲ見タノデハナクシテ、實際ノ利益其利益ト云フモノガ元ニテ居ルノデアリマシテ、三箇年平均ノ建設費ニ對スル利益ノ割合ト云フモノガ、基礎ニナッテ居ルノデアリマシテ、ソレ丈ノモノヲ得ラレル元金ヲ渡サウ、ソレヲ買收價格トスルト云フ原則ニナッテ居ルノデアリマスカラ、公債ノ價、株ノ價ト云フモノハ、見ル必要ハナイノデアリマス、ソレデ例ヘバ五十圓ニ對スルトコロノ一割ノ利益ガアルト見マスルト、ソレハ五圓ニナリマス、ソコデ假リニ五十圓券面ガ五圓ノ利益ヲ生ジマシタスト、其二十倍即チ二五ノ十

百圓ト云フコトニソレガナル、即チ百圓ノ券面ノ公債ヲ渡シマスノデ、サウスルト云フト其百圓カラハ矢張五分ノ公債デアリマスカラ、五圓ト云フモノガ得ラレルト云フコトニナリマス、サウ云フ譯デ、其定タ所ノ利率ヲ得ラレル、其元金ヲヤルト云フコトニナリマスノデ、ソレデ二十倍ト云フコトガ出マシタノモ、サウ云フ關係デアリマス、五分ノ公債デアラカラ二十倍デアル、若シ之ガ四分ノ公債ヲ渡スコトニナレバ二十五倍ニナル、二十五倍ニ致シテ置キマス、四分ガ矢張五圓ノ利益ト云フモノヲ得ラレルト云フコトニナル、ソコデ額面ニ依ルト云フコトガ分ルノデアリマス、或ハ借入金ノ建設費ニ使用シテアルモノヲ差引ク、或ハ貯藏物品ノ實費ヲ拂フ時分ニ時價ニ依ルノハ、違フデハナイカト云フコトデアリマスガ、ソレハ違フノガ當然デアリマス、貯藏物品ハ、利益ト云フモノカラ關係ハナイ、貯藏物品ハ利益ヲ生ジテ居リマセヌ、即チ此原則ハ建設費ト云フモノガ、利益ヲ生ズルモノト云フ原則ニナッテ居リマスカラ、貯藏物品ハ、建物費ニ這入ッテ居ラヌ、利益ガ生ジテ居リマセヌ、ソレデアリマスカラ利益カラ見ル必要ハナイ、ソレデアリマス、貯藏物品ハ實際ノ價ヲ拂ッテヤル、サウスルト實際ノ價ヲ拂フト云フト、公債デアルト、實際ノ其時ノ價ニナラヌコトニナル、之ハ已ムヲ得ズ元金ノ實際ノ價ニナルト、ドウシテモ時價ニ換算シナケレバナラヌコトデアリマスカラ、時價ニ換算致シマシタノデアリマス、ソレカラ今ノ借入金ヲ建設費ニ使用シテアッタモノヲ時價デ引去ル、之ハ政府ガ義務ヲ負フト云フコトニナッテ居リマスカラ、政府ハ負債ノ權利者ニ向ッテハ、現金デ仕拂ハナケレバナラヌ、假リニ之ヲ會社ガ自分ノ負債ヲ引受ケテ、是ハ又モノヲ公債デ買ッテ返ストシテモ同ジコトデ、公債ヲ返スコトハ出來マセヌカラ、ソレヲ時價デ賣却シテ、權利者ニ返サナケレバナラヌ、政府ガヤッテモ同様ノ關係デアリマスカラ、ソコデ負債ヲ返ス實際ノ金ノ得ラレル元ヲ引去ルノデアリマス、引去ラナケレバナラヌ理由ガ生ジテ來ル、ソレカラ關西鐵道ノ六營業年度ノ實際ノ建設費ヲ示サレタイト云フ御希望ニ付イテハ此處ニ書類ヲ持ッテ居リマセヌ、合セタモノ、丈ハ蒔蒔版ニシテ御廻シ致シマシタガ、一ツノモノニナルト、此處ニ持ッテ居リマセヌカラ、イヅレ持ッテ參ル積リデアリマスカラ、其時御示シテ致シマス

○菊池武德君 過日來政府委員ノ答辯ヲ承リマス、殆ド要領ヲ得ルコトガ出來ナイ、動モスレバ虛偽ノ答辯ハナイカト思フヤウナコトモ本員ニ疑ハル、先ヅ第一番ニ申シマス過日淺野君ハ、本案ノ精神ハ鐵道ノ統一デアル、統一ト云フコトハ國有ニアラザレバ統一ノ目的ヲ達スルコトガ出來ヌカ否ヤト云フコトヲ政府委員ニ御尋シタコトガ政府委員ノ答辯ニ、強テヤレバ達セラレヌコトモナイデアル、ケレドモ私設會社ハ營利ノ目的トシテ居ルモノデアラカラ、其利益ヲ犧牲ニ掛ケテマデモ統一ノ目的ヲ勵行スルコトガ穩當デナイ、故ニ國有ニスル外ナイト云フコトノ答辯ヲ得タノデアリマス、是ハ如何ナル事實カラ斯ノ如キ答辯ヲ與ヘラレタノデアラカ、今日ニ至ル迄作業局ノ局線、及會社線ト聯絡ヲルニハ、連帶シテ割引ヲシテヤルト云フ問題ガ起ッタトキニ、何時デモ割引ニ應ジナイ、連帶運輸ハ迷惑デアルト云ッテ、拒絕スル、作業局ノ利益ヲ保護センガ爲メニ交渉スルノヲ拒絕スル、私設會社ノ方ハ貨物ノ便利ヲ圖ッテヤラウト云フコトヲ作業局ノ方ニ交渉スルト、作業局ハ自分ノ線路ヲ保護センガ爲メニ其交渉ニ應ジナカッタ、今日迄ノ事實ニ於テ便宜ノ方法ヲ私設會社ガ申出デ、モ、拒絕スル、斯ノ如キ歷々タル事實ガアルニモ拘ハラズ、私設會社ハ營利ノ目的トスルモノデアラカラ、其利益ヲ犧牲ニサセマデモ統

一ノ目的ヲ勵行スルコトハ不穩當デアルト云フハ、罪ヲ私設會社ニ歸セシメテ事實ハ官線ノ非ヲ掩フヤウナ答辯ノヤウニ伺ヒマスガ、斯ノ如キ事柄ハチヨット御尤ノヤウニ聽エルケレドモ、實際ト符合シナイトコロヲ答辯デアリマスカラ、吾々ガ政府委員ガ、只私設會社ガ迷惑デアラウト云フ口實ヲ設ケズニ、國有ニアラザレバ統一ノ目的ヲ達スルコトガ出來ヌナラバ、出來ヌト、明カニ右カ左カノ答辯ヲ與フレバ、ソレデ以テ功罪ヲ論ズルハ、本會ニ於テ其罪ヲ論ジナケレバナラヌ、唯事實上是迄ナカッタコロノ事例ヲ以テ答辯ニ代ヘルコトハ、甚ダ不親切デアリマスカラ、斯ノ如キコトハドウカ事實ニ符合スルヤウナ答辯ヲ願ヒタイノミナラズ、本員ガ前議會ニ於テ鐵道ノ聯絡輸送ニ關スル建議案ヲ提出シタコトガアル、其時ノ當局者ハ一部ハ更迭シテ居リマスケレドモ、聯絡輸送ハ便利ヲ圖ラナケレバナラヌ、即チ今日云フ統一ヲヤラナケレバナラヌト云フコトノ建議案ヲシタトキニ、當局者ハ何ト云フデ其建議案ニ對シテ待遇ヲサレタノデアアル、私設會社法ノ六十四條六十五條ニハ、主務大臣ガ交互運輸ヲヤルコトニ付イテハ、差支ナイ道ガ開ケテアル、ソレニ向テオ前ガ交互運輸ノ道ヲ開カナケレバナラヌト云フコトヲ建議スルハ、餘計ナ御世話デアル、政府ハ本員ノ建議ノ有無ニ拘ラズ、此度交互運輸ノ目的ニ向ッテハ十分ニ今日努メツ、アルノダカラ、餘計ノ建議デアルカラ之ハ否決シテシマウト、斯ウ云フタ、其時ニ交互運輸ノ途ハドノ邊マデ進ンデ居ルカト云フ事實等ニ進歩シタコトガ、イヤ、ソレ程事實ニ付イテ鐵道局ノ店卸シサレテモ困ルカラシテ、ソレナラバ此建議案中ニ速ニト云フ文字ヲ加ヘテ吳レ、速ニト云フ文字ヲ加ヘテ交互運輸連絡運送ノ統一ノコトノ目的ヲ達セラル、ヤウニト云フ意味ニ換ヘル趣意ハ宜イ、但時期ガ速ニト云フ——政府デヤリ居ルンダケレドモ、尙速ニヤッテ居ルト云フ意味ニ換ヘテ、以テ當時ノ建議案ヲ通過サセタコトガアル、然ルニ今日ニナッテ且ハ當局者ガ一部更迭シテ居ルニ拘ハラズ、其事實ニ變リハナイ、前議會ニ於テハ此ノ如ク統一ト云フコトハ法律上——今日現行ノ法律上ニ於テ出來ルニモ拘ハラズ、餘計ナ建議案ト云フテ、我輩ノ建議案ヲ冷遇シタル當局者ガ、本期議會ニ於テハ忽チ國有ニアラザレバ統一ノ目的ヲ達スルコトガ出來ヌト云フヤウナコトヲ述ベラル、ト云フハ、餘リ甚シイ、故ニ吾々ハ之ニ向ッテ殆ド議論ニ涉リマスカラ強テ當局者ヲ攻撃シヤウト云フノデハナイガ、兎ニ角政府ガ國有ニアラザレバ統一ガ出來ヌカト云フコトニ付イテ、出來ルカ出來カト云フコトヲ聞イテ、ソレデ以テ當局者ノ意志ノアルトコロヲ知シヤウト考ヘル有無ノ御返事ヲ願ヒタイ、ソレカラ此過日來又未成線ノ建築ニ付イテハ如何ナル成案ヲ持ッテ居ルカト云フコトハ、本員ガ本會議ニ於キマシテモ、第一ニ御尋シタコロデアリマス、此委員會ニ於テモ度々ドナカラシテ質問ノ出タコトデアリマスケレドモ、當局者ハ常ニ相當ノ時機ヲ見計ツテ之ヲ提出スル積リデアルト云フ、所謂相當ノ時機ト云フハ、如何ナル時機デアルカ、此當議會ニ於テ此ノ如ク本案ノ議事ノ進行シツ、アル間ニモ提出シヤウト云フ考デアルカ、兎ニ角之ガ極上デ、イツカ知ラス、其中ニ出シマセウト云フ漠然タル位ノ御約束デアルカ、此當議會中ニ出シヤウヤト云フ——相當ノ時機ト云フ時機ニ付テノ意味ヲモウ少シ明白ニ承リタイ、當議會デアルカ來期デアルカ、再來年デアルカ、ソレカラモウ一ツハ運賃ノ問題——運賃ノ問題ニ付イテ、私ハ鐵道ガ國有ニナッタバ、ドウモ政府ハ財政上ノ都合ヨリシテ、自分ノ思フヤウニ其國有ノ目的ガ甘ク往カナカッタキニハ、賃率ヲ上ゲルヤウナコトガアリハシ

ナイカト云フコトヲ憂ヘテ居ル一人デアアル、之ハ總理大臣ノ演說ニモ成ルベク運賃ノ遞減ヲ期スルト云フコトヲ云ッテ居ルケレドモ、其期スルト云フコトハ御話丈ノコトヲ事實ニ於テハ賃率ヲ上ゲルト云フ結果ニナリハシナイカト云フコトハ、甚ダ憂慮ニ堪ヘヌ、ソレデ茲ニ尋ネルノデアリマスガ、此運賃ヲ政府ガ唯從來デハ政府ノ權内デ行政部ノ權内ニアルケレドモ、此運賃ナルモノハ人民ノ例カラ見ルト、殆ド租稅ト擇ムトコロハナイ、租稅ハ立法部ニ議シテ其率ヲ定メテ、手數料ニ屬スルヤウナ運賃等ノモノハ、行政部ニ專屬シテ立法部デハ喙ヲ容レルコトハ出來ヌト云フコトハ、是ハ甚ダ今ノ日本ノ有様デハ不安心ノ至リデ、唯國法學者ノ說ニ依ッテ此租稅ノ種類ノモノハ、立法部ニ諮ヒ、手數料ノ如キモノハ、行政部ニ屬スルト云フ區別ハ、學問上アルカモ知レヌケレドモ、事實ニ於テハ此ノ如キ學者ノ說ニ拘泥シナケレバナラヌコトハナイ、殊ニ何事モ政府ガ專賣々々ト云ッテ、政府ノ官業ニシヤウト云フコトヲ主眼トシテ居ル今日ノ有様デアルカラ、何事モ行政部ノ手心ニ任カシテ賃率ヲ上ゲラレルト、租稅ヲ恣ニ課セラル、ト、同ジヤウナ迷惑ヲ公衆ハ感ズルノデアアル、故ニ此賃率ノ上下ト云フコトハ、一般公衆ノ利害ニ非常ナル影響ヲ及ボスモノデアルカラ、此政府ニ賃率ノ上下ノ權能ヲ與ヘテ置クト云フコトハ、甚ダ危險デアアル、故ニ立法部ニ諮ッテ其賃率ヲ定ムル以外ニハ政府ガ恣ニ上下スルコトハ出來ヌト云フ制裁ヲ置カナケレバ、頗ル危險デアアル政府ハ此國有ノ曉ニハ、果シテ鐵道ノ運賃ト云フモノハ、立法部ニ議シテ上下スルト云フ御心持デアルカ、ソレトモ政府ノ都合次第デ、イッデモ上ゲタリ下ゲタリスルト云フ御心持デアルカ、其點ノ內議ヲ伺ッテ置キタイ、殊ニ事實上國有ニナルガタメニ鐵道沿線ノ各地方ニ於テハ、今日マデ鐵道會社カラ徵收シテ居ル稅ト云フモノハ悉ク奪ハレテ、ソレガタメニ市ガ町ナリ村トナルト云フヤウナ結果ヲ來タスコト、モ此中ニハ直チニ含マレテ居ル、此上ニ持ッテ來テ運賃マデモ勝手ニ上下サレルト云フコトニナルト、殆ド惡ルク云ヘバ氣違ヒニ勿物ヲ持タセタヤウデ如何ナル過チヲ來タスカ、分ラヌカラ、之ニ對スル制裁ヲ附シテ、モウ立法部ニ任カシテ置カナケレバナラヌト云フハ私ノ主眼デアリマス、其點ハ政府ハ內意ハ如何デアルカ、此ノ如ク未成線ノ建築ニシテモ、或ハ運賃其他ノ管理ノ方法ニシテモ、又國有ノ曉ニ如何ニスルカト云フコトノ見据ガ一ツニ定ッテ居ラス、言ハハ此國有法案ト云フモノハ半分額ヲ出シテ置イテ、善イカ惡イカト云フテ尋ネルヤウナ譯デ、國有法案ノ態ヲ備ヘテ居ラス、若シ全体ヲ開イテ見レバ片一方ノ眼ハ潰レテ居ルカ知レヌヤウナ譯デ、此當議會ニ於テ議事ノ進行中ニモ政府ガ附則ノ法律ヲ悉ク御出シニナルト云フ御見込デアルカ、ソレ等ハ所謂イツカ分ラナイ、漠然タル相當ノ時機ニ於テ御相談シヤウト云フ積リデアルカ、其邊ヲ承ラナケレバ、何分贊否ノ意見ヲ決スルニ困ルノデ、ドウカ御內意ノアルトコロヲ承ッテ置キタイ

○政府委員仲小路廉君 唯今ノ御尋ニ向ッテ御答致シマス、其中デ是マデアリマシタ事柄ニ付イテ此局線ト、ソレカラ社線トノコロノ如キモノデアアル、或ハ會ア御建議ニナッタ交互運輸ノ關係ハドウデアアルカ、是等ノ點ハ幸ヒ當局ノ作業局長官モ見エテ居リマスカラ、是カラ御返答致ス方ガ明瞭ダラウト思フ、ソレカラ運賃ノコトモ同様に當局カラ直接ニ述ベラレタ方ガ明瞭ダラウト思フ、此未成線ノ將來ニ付イテハドウ云フ計畫ヲ政府ハ持ッテ居ルノデアアルカ、且此法案ガ通過タ曉ニハ此附則法ハドウ云フ積リテ、如何ナル時機ニ提出スルノデアアルカ、斯ウ云フ御尋デアリマシタガ、此未成線ノ將來ニ關係ス

ル點ニ付キマシテハ、過日ヨリ再三申述ベシタ譯デアリマシテ、政府ニ於キマシテハ此度此鐵道國有即チ統一ノコトガ定リマシタナラバ、之ト同時ニ此會社ノ有スル未成線ハ勿論、是マデ政府が必要トシテ居リマスル縱橫幹線ノ如キモノモゴザイマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、成ルベク此縱橫幹線ナリ必要ナル聯絡線ハ出來得ル限り近キ將來ニ於テ相當ノ方法ヲ以テ計畫ヲ立テタイト考ヘテ居リマス、是ハ今日デモ既ニヤリツ、アリマス、又未成線ノ部ニ付キマシテモ、尙豫定線ノ分ヲ引上ゲテ、第一期線ニ致シテ居ルモノモゴザイマス、併ナガラ此事ハ總テ財政ト直接ノ關係ヲ持ッテ居リマス、此度ノ國有法案デ此買收ノ時機ヲ五箇年間ニシタイト云フコトモ、昨日來申シマス通り、成ルベク一般財政ニ影響ヲ及ボサナイヤウニ、變動ガ急激ニ起ライナイヤウナ範圍内ニ於テ、事ヲ全ウシテ行キタイト考ヘテ居リマス、凡ソ事ヲ實行スルニ付キマシテハ、言フマデモナク財政一般ニ關スルコトデゴザイマスカラ、大藏省ト關係致スノデアリマスカラ、是等ノ點ニ付キマシテハ、政府ニ於キマシテハ勿論費用ト相待ッテ、種々計畫ヲ致スノデゴザイマス、是ハ委員會ノ當初マ總理大臣カラモ申シマシタ通り、今年ノ冬ノ議會ニハ滿洲ノ經營、韓國ノ經營、其他種々戰後ノ經營トシテスルコトガ澤山アルノデアリカラ、未成線ノ計畫ニ付キマシテ、政府ノ希望スルコトハ近キ將來ニ於テ初期ノ目的ヲ達スルヤウニ致シタイト思ヒマス(菊池武徳君「來年デスカ」ト呼フ)他ノ總テ一般ノ計畫ト緩急斟酌ヲ付ケマシテ、サウシテ適當ノ時機ニ提出スル考デゴザイマス、併シ今年必ズ出ストハ勿論言ヘマセス、都合ガ好ケレバ此次ノ議會ニハ提出シタイト思ヒマス、併ナガラ此事ハ今日ニ於テ次ノ議會ニ必ズ提出スルコト云フコトヲ明言致シマスルコトハ、甚ダ困ルノデゴザイマス、一日モ早く提出シタイト思フノデス、ソレカラ此未成ノ方ノコトニ付キマシテハ、是ハ昨日モ申上ゲマシタ通り、今ヤ致キタイシテ調査ヲ致シテ居リマス、或ハ其一部ハ今期ノ議會ニ提出ニナルカモ知レマセヌ

○政府委員工學博士平井晴二郎君 唯今ノ菊池君カラノ御質問ニナリマシタ二點ニ付イテ本員カラ御答辯ヲセヨト云フコトデゴザイマスカラ、茲ニ御答ヲ致シマス、昨年菊池君カラ鐵道ノ聯絡運輸並ニ直通列車ノ運轉ヲスルコト云フ意味ニ於ケル鐵道ノ統一ト云フコトヲ速ニシタイト云フ建議ガ提出ニナリマシテ、其當時ニ於テ政府ハ私設鐵道法ニ其條ヲ設ケテ、菊池君ノ建議サル、コトハ、遞信省ガ付ケル積リアルカラト云フ説明デアッタカラ、其儘ニシテ置イタコトハ、本議會ニ於テハ打ッテ變ッテ是非鐵道ヲ國有ニシナケレバ、統一ト云フコトハ行ハレヌト云フ理由ヲ以テ、説明シテ居ルノデハナイカト、斯ウ云フ御質問デゴザイマシタガ、少シク是ハ前ノ議會ノ當時政府委員ガ申上ゲタトハ違ッテ居リマス、政府委員ノ答辯ヲ致シマシタノハ、私設鐵道法ノ條項ニ依リマシテ、遞信大臣ガ直通運輸ナリ、又ハ連絡運輸ナリハ命令ヲスルコトガ出來ルヤウニナッテ居ルト云ッタノデアリ、サリナガラ此問題ハ直チニ鐵道會社ノ利害ニ關係スルコトデアリカラ、極端ニ營利會社ノ利益ヲ犧牲ニ供シテマデモ、此命令ハ出來ナイノデアリ即チ菊池君ガ今建議サレントスル丈ケノコトハ、法律デ極ッテ居ルカラ、實施ヲスルコトニ當ッテ遞信省デ盡力シテ居ルノデアリ、併ナガラ尙一層進ンデ此事ヲ實行スルコトナラバ、同意ガ出來ルカラ、ソレデ委セテ貴ヒタイ、ト斯ウ云フ趣意デアッタノデス、ソレカラ次ハ今度政府ガ全國ノ私設鐵道ヲ買收シテ、統一ヲシタナラバ、運賃ヲ上ゲルノデハナイカト云フ御質問デアリガ、是ハ先日

モ總理大臣カラ申サレマシタ如ク、當ニ運賃ハ上ゲナイノミナラズ、或種類ノモノニ付イテハ、大ニ下ゲル積リデアリ、又今日マデ私設鐵道トノ間ニ運賃ノ割引ナドノ交渉ガアル場合ニ、官設鐵道ノ方デハ自分ノ利益ヲ保護センガタメニ、イツデモ之ヲ拒絕シテ居ルノデアリ、即チ此統一ヲシテ運賃ヲ下ゲルト、一面ニハ言ハレケレドモガ、實蹟ニ徴スレバマルデ反對ノコトヲヤッテ居ル、是レ如何ト斯ウ云フ御尋デアリマスルガ、此運賃ノ割引ト云フコトニ付キマシテハ、官設鐵道殊ニ東海道線ハ數多ノ私設鐵道ト聯絡ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、其鐵道已タノ利益ヲ増スガタメニ、官設鐵道ノ利益ヲ犧牲ニシテモ、下ゲテ貴ヒタイト云フヤウナモノハ、拒ンダコトハ、是ハ勿論ナイトハ決シテ申サレマセヌ、無論アッタノデス、又ソレト反對ニ官設鐵道ノ或ハ越後ニ到ル貨物ノ運賃、若シハ奥羽ニ到ル貨物ノ運賃ニ付イテ、私設會社ト交渉ヲ致シマシタ場合ナドニハ、全ク之ニ反シテ私設鐵道ガ應ジナイコトモアルノデス、是ハ菊池君ガ仰シヤッタ如ク、イツデモ官設鐵道ハ運賃ヲ下ゲルト云フコトニハ不同意ノ方針ヲ取ッテ居ルデハナイカト云フコトニ伺ッテ事實全ク反對ノコトガアルト云フ例デゴザイマス、併シソレハイツモ同意シナイト云フノデハナイ、或場合ニハ同意シ、又或場合ニハ私設會社ト交渉ヲ拒絕シタコトモ多クアルノデゴザイマス

○恆松隆慶君 私ハ長ク質問ハシナイ積リデアリマスカラ、極ク簡單ニ此場合一言御許ヲ願ヒマス、此問題ニ付イテ質問應答ガ要領ヲ得ナイト云フコトデゴザイマスガ、是等ハ双方ヲ靜カニ聽キマスル、質問モ要領ヲ得マスシ、又政府委員ノ御答ヲ要領ヲ得マシタ、唯私ガ御尋ヲシタイコトハ、此國有ニ之ヲスルコトシテ、其賠償價格ノ參考書トシテ表ガ廻ッテ居リマシテ、甲ノ表ニ依ッテ見マスルト四億五千イクラ、乙ノ表ニ依ルト四億六千イクラ、丙ノ表ニ依ルト四億七千イクラト云フコトデアリ、此中マダ漏レタモノモアル、又賠償價格ヲ上ゲタトコロガ五億萬ト見マスレバ、是ヨリ増スヤウナコトハナイト思ヒマス、之ヲ縱シ公債デ買上ゲルト云フコトニ致シマシテモ、一時ニ買上ゲルト云フコトニナルト五億ノ公債ガ起サレルモノデゴザイマスカラシテ、此公債ノ價格ノ維持ヲ保テルヤ否ヤト云フコトニ付イテ、憂ヲ抱イタコトモゴザイマスガ、是等ノコトモ今日價金ハ取レナクテモ、一時ニ三億圓ノ公債ヲ募ッテモ之ニ應ゼラレ價格以上ノ申込モアルト云フ程ノ景勢デゴザイマスカラ、殊ニ鐵道ヲ國家ガ買上ゲルニ當リ、其公債ヲ發行スルニ一時ニ發行スル譯デアリカラ、サウ恐ル、コトハナイト思ヒマスガ、此事ハ多少世間ノ前モゴザイマスガ、私ガ思ヒマスニ、是ハマルデ公債ヲ株券ト換ヘタラ、ソレヲ持主ガ一時ニ賣出スト云フヤウナコトデ、價格ノ變動ヲシ、大イニ經濟界ニ恐慌ヲ來スト云フ憂モアルマイト思ヒマスガ、其事柄ニ付イテ御尋ヲ致シタイノハ、此日本鐵道ニハ皇室ノ御持株ガ相應ニアルヤウニ思ヒマス、又北海道鐵道ノ株モドウデゴザイマセウカ、確カアルト思ヒマス、皇室ノ御持株ガ日本鐵道或ハ北海道鐵道ニアリマスルストレバ、ソレヲノ高ハドノ位ゴザイマセウカ、又華族ノ世襲財產トシテ持ッテ居ルヤウナ株ガ、イクラ位ゴザイマセウカ、是ガ相當ニアルト致シマスレバ、是等ハ決シテ賣出スヤウナ恐レモナイデゴザイマセウカ、是ガ大抵御分リニナッデゴザイマセウカ、又經濟界ニ是等ノコトハ安心デゴザイマセウカ、ドノ位ゴザイマスガ、御分リデゴザイマスレバ、御示ヲ願ヒタイ、尙モウ一箇條伺ッテ置キタウゴザイマスガ、此鐵道ヲ國有トシテ國運ヲ發展ヲ圖ル、大イニ國ヲ進メテ往ク大飛躍ヲスルニハ、誠ニ適當ノ

方法デモアラウト思ヒマスガ、此既設ノ鐵道ヲ買上ゲテ、國運ノ發展ヲ圖ルト云フ位政府ニ大決心ガアリマスレバ、尙ホ未設ノ鐵道ノコトニ付イテモ、御計畫アラウト思ヒマスガ、如何ノ方針アルカ、既ニ議會ニ於キマシテモ四大幹線ヲ建議案——北陸、九州、山陰、四國ノ未設鐵道、又ハ廣濱鐵道即チ廣島ヨリ濱田マデ、五師團カラ石見ノ濱田聯隊マデ通ズルヤウナ豫定線、其他サウ云フヤウナ未設ノ線路ハ、軍事上ニモ必要ナルト思ヒマスガ、政府ノ御意向ハ如何ニ御定メナッテ居リマスルカ、此二點ニ付キマシテ政府ノ御答辯ヲ願ヒマス

○政府委員仲小路廉君 唯今恆松君ノ御尋ノ中未定線ノ分デゴザイマスガ、唯今モ菊池君ニ向テ御答致シマシタ如ク、政府ハ既ニ既定ノ鐵道スラモ買収シテ、サウシテ鐵道ノ統一ヲ計ルト云フ考ヲ持ッテ居ル今日デゴザイマスカラ、此未成線ニ付キマシテモ勿論其必要ヲ認メテ居ル譯デゴザイマス、既ニ過日四大幹線ノ建議ニナリマシタ際ニモ、政府ノ所見ハ十分ニ申述ベタルヤウナ譯デゴザイマシテ、一日モ早く此國內ノ鐵道ノ聯絡ヲシテ——系統タケハ全クシタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、之ニ付キマシテハ既ニソレノ計畫モ致シテ居リマスノデゴザイマス、又此公債ノ點ニ付キマシテハ、過日カラ大藏大臣モ述ベマシタ如ク、決シテ之ガ影響及ボサナイト云フ考デゴザイマスガ、併シ其點ヲ心配スル人モアラウト思ヒマスガ故ニ、一般ノ經濟界ノコトモ考ヘ買収ノ時期モ多少弛ミモ付イテ居リマスカラ、之ト同様未成線ニ付キマシテモ、政府ハ力メテ之ヲ考ヘ有シテ居リマス、財政ガ許シマシタナラバ、一般財政上ノ範圍內ニ於テヤリタイト考ヘテ居リマス、此點ハ明カニ申上ゲマス、ソレカラ日本鐵道會社ノ株主皇室ノ御持株ハゴザイマス、其點ハ鐵道局長カラ御答致シマス

○政府委員山之内一次君 今恆松君ノ御尋デ、日本鐵道會社並ニ北海道鐵道ノ皇室ノ御持株ニ付キマシテハ、チヨット今株主名簿ヲ持ッテ參リマセヌカラ、株數ハ分リマセヌガ、ソレハ今調ベテ御答致シマス、日鐵ト北海道鐵道ニ皇室ノ御持株ハ確カニゴザイマス

○南條吉左衛門君 チヨット御尋ヲ致シタイデスガ、我輩ノ御尋ヲシヤウト云フノハ、第一條ノ趣旨ニ付イテ、將來ニ及ボス鐵道政策ノ政府ノ所見、斯ウ云フコトニ付イテ御質問ヲシタイト云フモノハ第一條ニ「一般運輸ノ用ニ供スル鐵道ハ總テ國ノ所有トス」ト云フ、此趣旨ニ付イテ、勿論今回買収ト云フコトヲナサル以上ハ、將來モ此趣旨ニ則ッテ鐵道ノ經營ヲセラル、ダラウト思ヒマス、然ルニ此各鐵道ニ付イテ見マスレバ、決シテ一般ノ國ノ交通トカ云フコトニ關係ノ薄イ鐵道モ今回買収サレルコトニナッテ居ル次第デゴザイマスガ、ソレハ一般ノ關係デ、一方ハ買フ、一方ハ買ハヌト云フコトハ出來マスマイガ、我輩ヲ以テ見マスレバ、此一般ト云フ中ニ豐川鐵道ノ如キ、或ハ水戸鐵道ノ如キ、斯ウ云フ細カイモノモアル、ソレハ何ニモ彼ニモ一般ノ交通運輸ト云フコトニ大シタ關係モナイモノモ、今般買収スル序ダカラ殘スモ氣ノ毒ダカラ買ッテヤレト云フ、斯ウ云フ意味アルカモ知ラヌ、諸デ斯ウシテ見レバ過日來段々諸君ノ御尋ニナッテ未成線ト云フモノモ許多アルノデアリマス、今般買収スルコトコロ、此各私立鐵道會社ノ豫定線ニ屬シテ居ルヤウナモノモ、近々敷設致サナケレバナラヌト思フ、是モ悉皆國有主義ニ則ッテ國家ガ之ヲスルト云フ、斯ウ云フ目的ニ外ナラヌ次第アラウト思ヒマス、然ルニ今日現ハレテ

居ラヌトコロノモノニ——未タ國內ニ政府ガ未定ノ地方ト見ルカモ知ラヌガ、併シ其模様ニ依ッテ今回一例ヲ舉ゲタヤウナ類ニ匹敵スル、ソレヨリ却テ交通上ニ關係ノ大ナルヤウナモノモアラウト思フ、サウ云フモノニ對シテ必ズヤ民間カラ今後鐵道ヲ私設致シタイト云フ鐵道ノ請願ガ出ルコト、思フノデゴザイマス、此出ルコト、思フノハ、國ノ進運ニ連レテ是非共此交通ノ利便ヲ進メナケレバナラヌカラ、必ズ是ニ從ッテサウ云フ鐵道ノ狀態ヲ異ニシテ出テ來ルヤウナ所ガアラウト思フ、又一方ニハ鐵道ノ固定シテ居ル資本ヲ此度ハ總テ流通ノ株券ヨリハ比較的能ク流通スル所ノ國債證券ヲ以テ交付サル、其額ガ殆ド五億ニ至ルト云フ、其五億ノ金ヲ六七年間ニ於テ殘ラズ民間ノ手ニ集マル、是等ノ物ヲ以テ悉ク商業ノ資本トカ、或ハ家ニ貯藏スルノモアルガ、利ヲ取ルバカリノモノモナイ、斯ノ如キ公債ガ一時ニ市場ニ出ルトキニナレバ、ソレ等ノ物ヲ以テ必ズヤ斯ウ云フ鐵道ヲ敷設スルト云フヤウナ志ヲ以テ來ルコトハ明カニデアリマス、サウ云フ場合ニ至ッテモ今回買上ゲラル、ヤウナモノニ、比較スベキヤウナモノナレバ、政府ハ一切此鐵道ノ敷設ト云フコトヲ今後民間ニ許サヌ、斯ウ云フ御方針デゴザイマスガ、斯ノ如キコトヲ御尋申セバ、左様ナコトハ將來ニ屬シテ議案以外ノ尋デアルカラ、今日明ニ明言ハ仕難イト云フコトモゴザイマセウケレドモ、併ナガラ此議案ニ付イテ段々攻究シテ見レバ、勢ヒサウ云フ新設鐵道ガ今後起ッテ來ヤウト云フハ必ズ思フノデ、況ヤ資本ガ潤澤ニナッテ來レバ、必ズ鐵道ノ資本ヲ以テ亦鐵道ヲ拓ヘルヤウナ考ガ必ズ起ッテ來ル、其鐵道ハ交通ノ上頗ル利便ノモノデアルケレドモ、今後ノ民間ノ出願ト云フモノハ國有主義ニ依ッテ一切之ヲ許可セヌト云フコトデアルカ、ドウ云フ御考デアルカ、僅ニ現ハレタ一期線、二期線、其他買収スル以上ノ豫定線ト云フモノヲ除イテ、其他新タニ起ッテ來ルモノハ、ドウ云フ考ヘニ依ッテ處分スルカ、政府ノ方針ヲ十分ニ御答ヲ願ヒタイ、ソレニ依ッテ民間ニ於テ無用ノ計畫ヲ致スヤナコトハナカラウト思フノデゴザイマスカラ、此案ヲ決スルニ當ッテ、大イニ吾々ハ是丈コトヲ決心シタイト云フ都合モアルカラ……

○政府委員仲小路廉君 唯今ノ御尋ハ必要ナコト、存ジマスカラ、政府ノ考ヲ申上ゲテ置カウト思ヒマス、第一條ノ點ニ付イテ過日申上ゲタ如クニ、一般運送ノ用ニ供スル鐵道ハ國デアルト云フ主義ハ、根本ニ依ッテアル譯デアリマス、詰リ鐵道ハ國デアルト云フコトハ原則ニシテ、政府ノ懷イテ居ル意見デアリマス、併ナガラ物云自カラ其中ニ緩急ヲ付ケナケレバナラヌ、一ノ原則ハ原則デアルケレドモ、併シ多少其間ニ斟酌ノ餘地ノアルコトハ、物ノ順序トシテ必要ノ譯デアラウト思フ、即チ運送ノ要ハ國ノ鐵道デアルケレドモ、サリナガラ一地方ノ交通ヲ目的トシテ居ルモノハ、必シモ政府ハ持タヌ、必シモ政府ハ持タヌト云フ意味ニ至リテハ、或場合ニハ民設モ含マレル、其一地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道ハ如何ナルモノデアルカト云フコトニ付イテ、是ハ昨日岡田君ノ御尋ガアリマシタガ、哩數ニ依ッテ極メルナンカト云フコトデヤナイコトハ、其實ニ關シ、事實ニ於テ自カラ判斷ハアルト見ナケレバナラヌガ、之ヲ一口ニ申セバ、所謂一地方ノ交通ノ關係ノモノデアラナラバ、是ハ強デ政府ハ持タヌ、時トシテハ私設會社ニ許スベキコトモアル、斯ウ云フ意見デアリマスカラ、大體政府ノ後來ニ對スル所見如何ト云フ御尋デアレバ、一般鐵道ニ對シテハ政府ハ之ヲ國有トスルト云フ主義ヲ持ッテ居ル、併ナガラ其中ニハ斟酌ノ餘地ヲ置イテ一地方ノ交通ヲ目的トスルモノニ付イテハ必シモ政府ハ持タヌ、其如何ナルモノガ一地

方ノ交通ヲ目的トスルモノデアルカト云フコトハ、是ハ事實其時ニ依ッテ判斷スル……
 ○加藤政之助君 私ハ許ヲ得マシタ、漸ク委員長ノ許可ヲ得マシタカラ、述べマス、私
 ハ此鐵道國有ノ根本ニ付イテ質問ガシタイノデアリマス、凡ソ政府ガ事業ヲ營ムト云フ
 上ニ付キマシテハ、古今ドコノ國デモ一ツノ主義ホカナイト私ハ思フ、一ツノ中一ツハ收入ヲ
 多クシテ財政ノ助ヲ得、缺陷ヲ補フト云フコトガ一ツ、モウ一ツハ公共ノ便益ヲ進ムルコト云
 フコトガ一ツデアリマス、ソコデ今日政府ガ鐵道ヲ國有スルノハ、ドチラノ主義ニ重キヲ置カ
 レテ居ルノデアルカ、政府委員ノ説明及此參考書ニ依ッテ見ルトコロニ依ルト、殆ド何レニ
 重キヲ置カレテ居ルノデアルカト云フガ分ラヌ、ナゼナレバ陸軍大臣大藏大臣ノ説明スル
 トコロヲ聞クト云フト、軍事上カラシテ接續十分ニシ、敷設十分ニシテ、之ヲ統一シナ
 ケレバナラス、其主義カラ國有ニスルノダト云フコトヲ辯明サレタ、ソレカラ大藏大臣ノ云フ
 トコロニ依ルト、今日戰後ノ經營トシテ貿易ノ發展ヲシナケレバナラス、物産ヲ大ニ進歩ナ
 セナケレバナラス、ソレガタメニ賃錢モ引下ケル、サウシテ此鐵道ヲ國有ニシタイノデアルト云
 フ、斯ウ云フコトデアル、此邊ノ説明ヲ聞クト云フト、公益即チ國民ノ便益ヲ進ムルコト云
 フニ重キヲ置カレテ居ルヤウニ思ハレルノデ、然ルニ添ヘテアルトコロノ表ヲ見ルト云フト、是
 ニハ四十年後ニ鐵道ヲ買上ゲタ代金ハ取ッテシマツテ、尙其上ニ是丈ノ利益ガ出ル、是
 丈ノ資金ノ利益ヲ取ル積リデアルト云フコトガアル、此方カラ云ヒマス云フト收入主義
 デアルカノ如ク見エルガ、若シ收入主義デ、鐵道ヲ國有トスルト云フノデナイト云フノナレバ、
 瑞西ガ鹽ヲ專賣ニスル如キヤリ方デナケレバナラス、ソレハドウデアルカト云フト公益ノタメ
 ニ鹽ヲ專賣ヲ致サナケレバナラス、政府ガ掛ケテ居ル資金ニ對スル利息ノ外、一文モ餘計
 ナモノガ鹽ニ掛ケテ居ラス、政府ハ少シモ利益ハシナイ、即チ國民ノ便益ト云フコトノ最
 大限マデ及ボスデアルコトガ、主義デアレバ、政府ハ今日買フ公債ノ利子、之ヲ取ッテ往キ
 サヘスレバ、其以上ハ取ラヌト云フノデ、一般ノ便益ノタメニ總テノ便利ノタメニ、賃錢ノ
 引受ノタメニ此金ヲ總テ使フト云フコトデナケレバナラス、思フノデ、然ルニ右申上ゲル
 如ク、ドチラデアルカ、殆ド吾ニハ了解ハ出來ナイカラ、政府ハ收入主義ニ重キヲ置イ
 テ居ルノデアルカ、此公衆ノ便益ト云フコトニ重キヲ置イテ、此鐵道國有ヲナサルノデア
 ルカ、此事ヲ第一ニ承リタイ、ソレカラ第二ニハ此間諸君ガ段々御質問ガアツタノデ、政府ノ
 答辯ガアリマシタガ、其答辯ニ依ッテ彌々私ハ疑ヲ起シタイノデアル、此三年間ニ改良費モナケ
 レバ何ニモナイ、サウスルト之ハドウナサルノデアルカト云フコトヲ、此諸君カラ御質問ニナリ
 マスルト、政府委員ハ答辯シテ曰ク、或ル政府委員ハ之ハ修正費ト云フ中ニ、若干見積
 テアルカラ、ソレデ流用ガ出來ルノデアルト云フ答辯デ、又昨日カ、遞信次官ノ答辯ニ
 依ルト、改良費ノ如キハソレデ足ラザル部分ハ、既住ノ官設鐵道ガアル、其收益ノ中カ
 ラ流用ヲサセルノデアルト云フコトヲ言ハレタノデ、結果シテソレハドウナリマス、若シ官
 設鐵道ノ修繕費ノ中デ以テ流用シテ、此度買上ゲルトコロノ此鐵道國有ニナル鐵道ノ
 修繕費ニ流用スルトナレバ、既住官設鐵道ガ過分ニ修繕費ヲ見積ッデアレバ兎モ角モ、
 然ラザル以上ハ之ヲ流用シテ一方ニ向ケレバ、一方ノ修繕ガ不完全ニ設備ガ不完全ニ
 ナルト云フコトハ、知レ切ツタ話デアル、若シサウデナイ、一般ノ收益即チ既住ノ鐵道ノ收
 益カラ流用サレト云フコトデアラナラバ、既住鐵道ノ收益カラ一千何百万圓ノ一般會計ニ
 組込マレトコロノ此一千何百万圓ノ金ガ、何百万圓デアルカ、減ズルト云フコトデナケ

レバナラス、サウスルト云フト是ハ即チ此鐵道ヲ買收シタメニ、國家ハ既往ノ收入ヲ何百
 万圓ヅ、カ、年々失フト云フ結果ヲ生ズル譯デアル、之ハドウナリマス、之ヲ明
 瞭ニ御答辯ヲ願ヒタイ、ソレカラ尙此鐵道ヲ買收サレタ以上ハ、殆ド日本全國ノ鐵道會
 社ト云フモノハ、先ヅ買收ト同時ニ消滅スルノデアル、サウ致シマスルト云フト既住此鐵道
 會社ハ二億何千万圓ノ資金ヲ以テ、大事業ヲ經營シテ居ッタノデアルカラ、國家ノ營業
 稅トシテ定メテ居ッタコロノ金額ハ、蓋シ少ナカラヌ譯デアラウト思フ、然ルニ之ガ一朝買
 上ゲラレテ、此鐵道會社ガ消滅シタト云フトキニハ、此營業稅ノ財源ト云フモノガ、ソレガ
 ケ減ル譯デアルガ、其金額ハ凡ソドノ位ニナルト云フ見込ヲ政府ハ持ッテ居ラル、カ、之モ
 明瞭ニ其金額ヲ承リタイ、其金額ヲ承ルト之ガ鐵道買收ノタメニ財政ノ缺陷ヲ生ズルコ
 トニナルノデアルト云フコトガ、明瞭ニナルト思フノデアリマス、ソレカラ尙御質問致シタイ
 ノハ、過日來此國有法案ニ依ッテ鐵道ヲ買上ゲレバ、權利ヲ侵害スルノデハナイト云フ
 御質問ガ、二回程アツテ、ソレニ政府ノ答辯ガアツタガ、ソレガ要領ヲ得ナイノデアル、政府
 ノ云フトコロニ據レバ、煙草ノ專賣モ、ヤッタ土地收用法モアル、ソレト同ジヤウナモノデ、
 之ハ權利ヲ侵害スルモノデナイト、斯ウ云フヤウナ漠然ナ答辯デアル、之ガ私ニハ要領ヲ
 得ナイノデアル、デ此帝國臣民ハ所有權ヲ侵サル、コトナシト云フノハ、憲法ノ二十七條
 ニ明カニ明文ガ書イデアル、サウシテ政府ハ此明文ガアルニ拘ハラズ、鐵道ヲ買收シテ權
 利ヲ侵害セラレナイト言ハル、ノハ、ドノ條項ニ據ラル、ノデアルカ、凡ソ政府ハ此憲法ガ
 アル以上ハ、侵害シナイト、之ト反對ニ云フノハドノ條項ニ據ッテ侵害シナイノデアルカ
 ト云フコトヲ明解シナケレバナラス、思フニ其但書デアルト思フ、其但書ハ公益ノタメニ
 必要ナル處分ハ法律ノ定ムルコロニ據ルト、斯ウアルノデ、是デ政府ハ宜シト云フノ
 デアラウト私ハ思フノデ、若シソレトスルナラバ、私ハ尙理由ガ分ラナイノデアル、例ヘバ鐵
 道ヲ新タニ敷設スル、學校ヲ設ケル、斯ウ云フコトハ成程公益デアル、鐵道ガ出來レバ公
 衆ノ便益ヲスルカラ、故ニ公益デアル、學校ガ出來レバ公衆ノ便益ヲ進メル、是ハ即チ土
 地收用法ノ如キモノデ強制シテ、買ッテモ此但書ニ明カニ當欲ルモノデアル、然ルニ今日ノ
 鐵道買收ト云フコトハ、鐵道ソレ自身ハ既ニ出來テ、公衆ノ便益ヲ既ニシツアルノデア
 ル——便ヲナシツアルデ、唯茲デ政府ガ買收スルト云フノハ、之ヲ人民ニ持ッテ置ク
 カ、政府ガ持ツカ、斯ウ云フコトデアル、政府ガ持ツト云フコトカ、政府ガ強制シテ買收ス
 ルト云フコトカ、此憲法ノ二十七條ノ公益ノタメニ必要ナル處分ハ法律ノ定ムルコロニ
 據ルト云フ、此公益ト云フ文字ニ當ルト云フコトノ解釋デアラナラバ、將來ニ國民ノ有
 スル財產ハ、何物モ政府ガ都合ニ依ッテ買ハント欲スレバ、強制的ニ買フコトガ出來ルト
 云フコトニ、今日決定ヲ爲ス、即チ端緒ヲ開クトニナルノデアル、政府ハ果シテ其解釋デ
 アルカ、之ヲ一ツ承ハリタイ、ソレカラ是丈ノ大事ヲ爲スノニハ、既住ニ付イテハ、既住ニ於
 テハ、一地方ノ鐵道ヲ許否スルト云フコトデスラ政府ハ鐵道會議若クハ其他ノ會議ニ
 向ッテ之ガ利害得失ヲ諮問ナサレテ、鄭重ナ慎重ナ態度ヲ以テ之ヲ處置セタコトト思
 フ、デ今回ノ鐵道買收ノ如キハ、實ニ國家ノ大事件デアル、此大事件ヲ果シテ政府ハ相
 當ノ技能ノアル、鐵道ニ於テハ知識ノアル人ガ、日本ニハ餘程多イト思フ、其人ニ諮問
 セラレテ、斯ウ云フ計畫ヲナサレタノデアルカ、遞信省一個ノ考限リデ此計畫ヲ立テラレタ
 ノデアルカト云フコトモ一ツ承リタイ、又既住公債ヲ募集ヲナサレル折ニ於テハ、一般ノ

金融社會ノ影響其他ニ付イテハ、隨分慎重ノ態度ヲ執ラレテ、イツモ銀行家實業家ト云フヤウナモノヲ集メテ、之ヲ出シタトキニハ、ドウナルト云フコトヲ豫メ諮問セラレタヤウナルガ、此度ノ五箇年間ニ四億七千万圓ノ公債ヲ出スニ付イテハ、政府ハ豫メソレ等ニ付イテノ人々ニ諮問セラレテ、其人々ノ意見ヲ徵セラレタノデアルカドウカ、之ヲ承リタイ、此五箇條ヲ質問スル——六箇條……

○政府委員仲小路廉君 加藤君ヨリ六箇條ノ御質問デアリマスガ、之ニ向ッテ御答辯ヲ致シマス、第一ニ加藤君ノ御趣意ハ、鐵道國有ニ關スル根本ノ主義ハ、ドウデアルカ、斯ウ云フコトデゴザイマシテ、政府ガ鐵道ヲ國有ニスルニ付イテハ收入ヲ目的トシテ居ルノデアルカ將タ公共ノ便益ト云フモノヲ目的トシタノデアルカ、主義ハ何處ニアルカ、ト斯ウ云フ御質問、此事ハ加藤君ニハ既ニ御了解信ズル、過日來カラ此鐵道ノ國有ヲ今日シナケレバナラヌト云フコトハ、一ツハ此經濟上ノ發展ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、總理大臣ヨリモ屢言ハレタ、且又一面ニハ軍事上ノ目的ヲ遂行スルタメニ必要デアルト云フコトヲ陸軍大臣カラ言ハレテ居ル、即チ戰後ノ經營トシテ經濟上ノ發展ヲスルニ、鐵道ノ統一ハ必要デアルト認メ、又將來軍事上ノ關係ニ於テ、鐵道ヲ統一スルコトヲ必要ト認メタノデアリマシテ、之ヲ約メテ言ヘバ、國家公共ノ目的ヲ達スルコトガ、一ツノ目的タルニ相違ハアリマセヌ、國家公共ノ目的ヲ達スルコトガ、根本ニ於テ必要ナリト認メタ譯デアリマス、サリナガラ國家公共ノ目的ヲ達スルコトガ、目的デアルトスレバ、ソレナラバ最大限ニ引下ゲテ、總テ口ニスレバ良イデハナイカ——廉クスレバ良イデハナイカト言ハレカモ知レナイガ、ドウモ左様ナコトハ出來ナイ、國家ハ公衆ノ便益ヲ圖ルト同時ニ、一面ニ於テハ國家ノ財源ノコトヲモ計ラナケレバナラヌ、又適當ノ收入ヲ計ルコトハ、國家トシテ問ヘナイコトデアル、ソレデアリマスカラ一面ニ一般ノ公益ヲ達スルコト同時ニ、他方ニ於テ收入ヲ計ルト云フコトハ、差支ナイコトデアル、收入ヲ計ルコトヲ主眼トシテハナラナイト云フコトハ、何處カラ出テ來ルデアリマセウカ、收入ハ取ラヌデモ宜イカラ、最大限度ニマデ運賃ヲ引下ゲテ、構ハナイデハナイカト云ツテ、鹽ノ例ヲ引カレマシタガ、是ハ加藤君ニ御一考ヲ願ヒタイノデアル、餘リ物ヲ廉クスルノガ良イト言ツテモ、餘リ程度ヲ去ッテ物ヲ廉クスルト云フコトハ、遂ニ鐵道ヲ不必要ニ濫用スルコトニナル——遊ビ廻ル者マデ鐵道ニ乘ルコトニナル、故ニ國家ノ目的ヲ達スル上ニ付イテモ、適當ノ制限、適當ノ範圍内ニ於テ、收入ヲ期スルト云フコトハ、一向差支ナイ、餘リ物ヲ廉クシテ只ニマデシテマフト云フコトニナルト、必要ノ貨物ヲ送必要ナ人ガ旅行スルコトキニ、却テソレガ阻礙セラレ、コトニナリマスカラ、アナタノ御説ノ如ク總テ最低限ニマデ引下ゲテシマフコトハ出來マセヌノデ、一面ニハ相當ノ收入ヲ期スルコトガ必要デアリマス、其次ニ改良費云々ト云フコトハ此點ニ付イテ餘程疑ガアルト存ジマスガ、是ハ過日カラモ屢申述べタ譯デアリマスガ此甲乙丙丁定メテデアリマスモノハ、此度ノ國有ヲ致シマスルタメニ發シマシタ金額ノ償還方法ヲ極メタノデアリマス、ソレ故ニ償還ノ途ヲ立テマシタメニ改良費ニ向ッテハ是々ノモノヲ要スルト云フコトヲ極メタ譯デアリマス、併シ之ヲ償還スルタメニ見込ヲ立テタ式デアリマシテ、實際ニ運用スル時分ニハ波動ガアル、今年ハ改良費補助費ヲ要シテモ、來年ハ少ナイトキモアル、自ツカラ通ジテ參リマシテ、ソコニ波動ガ出來テ參リマスカラ長年ニ渉ル場合ニ一ツニ通ジテ見ルトキハ、斯ウ云フ割合ニナリマス、一方ニ要ラ

ナイトキニ片一方ニ融通ヲ附ケ、翌年ニ大變餘ルトキニハ翌々年ニ融通ヲ附ケルト云フコトハ、此率ニ極メタモノハアリマスガ、實地ニヤルトキニハ波動ガアリマス、ソレ此表ニ極メタコトハ、他ノ方ニ融通ヲ附ケテ、コチラデ餘レバ一方ヲ填メルノデ、斯ウ云フ風ニ償還ノ方法ヲ極メテ置キマシタガ、實地ニ行フトキニハ、融通ヲ附ケルノデアリマス、ソレ故ニ雙方融通ヲ付ケテ、相當ノ方法ヲ立テ、往ク云フ趣意デアリマス……

○加藤政之助君 一般會計ノ收益カラ使フ譯デアアリマセヌカ

○政府委員仲小路廉君 左様デハゴザイマセヌ、一般會計ニ——或時ハ國庫ニ納メル、現ニ官設鐵道ニモアリマス、年々多少ノ波動ハアリマスガ、一定ノモノハ國庫ニ納メルコトニナッテ居リマス、ソレカラ第四ノ權利侵害云々、此事ハ先日カラモ再三申シマシタガ、ツマリ御説ノ如ク公益ノ關係デ此所有權ヲ取得スルコトハ差支ナイ……

○加藤政之助君 將來如何ナルトキデモ政府ノ都合デ出來ルノデスカ

○政府委員仲小路廉君 ソレハ餘リ極端デ、將來何デモカンデモ取ルカト云フコトハ、極端ナル話デ、今日ノ場合鐵道ヲ統一スルコトハ必要ト認メマシタカラ、其理由ヲ述ベテ皆サンノ御協賛ヲ仰グ譯デ、餘リ極端ニ互ツテ、何シデモカンデモ取ルカト云フコトハ、政府モ致シマセヌシ、又御協賛ヲ仰グコトモアリマセヌ、國家ガ必要ト認メタモノヲ公益ノ關係ヨリ取ルノデアリマス、ソレカラ其次ニ相當ノ人ニ相談フシタカ、ドウカト云フ御尋デスガ、是ハ相談ハ致シマセヌト申シテ宜シウゴザイマス、ナゼナレバ此度ノ如クニ各會社ノ持ッテ居ルモノヲ政府ニ引上ゲル場合、言換ヘレバ賣人ト買人ト關係トナリマス場合、種種ノ相談ヲ致シマスルト、公平ヲ失スルコトモ出來マセウシ、適當ナモノヲ失フコトニナルト思ヒマスカラ、是ハ相談ヲ致シマセナラヌデスカ、遞信省內ニ於テモ、鐵道ニ關スル智識ヲ有スルモノモアル譯デアリマスカラ、ソレ等ニ依リ綿密ノ調査ヲ致シマシタ譯デアリマス、ソレデ單ニ相談シタカト云ハレ、バ、相談ハ致シマセヌト申ス外ハアリマセヌガ、相談シナイ方ガ必要デアルト考ヘタノデアリマス、其外ニ租稅ノ點ニ付イテデスカ、之モ取調ベテアリマスカラ、其點ハ鐵道局長カラ御話致シマス

○政府委員山之内一次君 加藤君カラ御尋ノ營業稅ノコトデスカ、國稅ノ内ノ區別ヲ致シマシタノヲ唯今持チマセヌガ、國稅ノ總額ハ三十七年度ノ納入ノ調ヲ持ッテ居リマスガ……

○加藤政之助君 總高デ宜シウゴザイマス

○政府委員山之内一次君 國稅ノ總額ハ三十七年度ノ納稅額ガ百二十一萬七千五百五十二圓トナリマス、ソレカラ縣稅ガ九萬六千六百五十一圓トナリマス、市町村稅ガ二十六萬七千四百五十圓トナリマス、ソレカラ序ニ先刻恆松君カラ御尋ガアリマシタカラ、チヨット申上ゲマス、日鐵ノ皇室ノ持株ガ二萬四千四百二十二株、ソレカラ華族ノ世襲財產ニナッテ居ルノガ九萬千零二株、北海道ノ皇室ノ持株ガ一千株デアリマス

○藻寄鉄五郎君 休憩ニナルナラ、質問フシテ置キタイノデスカ

○藻寄鉄五郎君 諸君ノ御考ヘ次第デス、御腹ガスイタラ休ミマスガ……

○藻寄鉄五郎君 第一條ノコトデアリマスガ、大體ノコトハ答辯ガアリマシテ、略々了解致シマシタガ、政府委員ノ説明ニ依ルト、一般運送ノ用ニ供スル鐵道ハ總テ國有ニスルノデアルガ、唯一地方ノ交通限ルモノハ場合ニ依ッテハ私設ニシテモ差支ナイト云フヤウニ了解致

シマシタガ、併シ一地方以上ニ必要ナル鐵道アリマシテ、サウシテ其鐵道ノ敷設ガ必要ニナリマスラバ、政府ハ國家經濟ノ如何ニ拘ハラス之ヲ架ケルト云フコトハ、是ハ容易ナコトデナカラウト思フ、又政府委員ノ説明ニ依レバ、國家經濟ノ都合ニ依ッテ、敷設スルコトガ出來ルト云フ答辯アリマスガ、サウスルト第一條ガアルガタメニ一地方以上ノ交通ノ必要ノ場合ニ當ッテ、政府ガ之ヲ架ケントスルコトニハ、國家經濟ノ都合デ架ケラレナイ、又之ヲ民設ニスルトキニハ、第一條ノ規定ガアルカラ、架ケルト出來ヌト云フコトニナレバ、政府ガ折角交通運輸ノ便ヲ計ルタメニ、國有鐵道案ヲ提出シテ、第一條ノタメニ鐵道ヲ架ケルト出來ヌシテ、地方交通ノ不便ヲ來スコトガアラウト思ヒマス、斯ウ云フ場合ニ當ッテ政府ハ如何ナル處置ヲスル積リデゴザイマスカ、一應伺ッテ置キマス

○政府委員仲小路廉君 其點ハ先刻恆松君ノ御尋ニ對シテ御返答申シタ如ク、將來國家ニ必要ナル鐵道ニ付イテハ、政府ハ努メテ建設ヲ早クスル積リデゴザイマス、唯此地方ノ分ダケニ付イテハ、一地方限リノ分ハ民設ニスルコトモアリ得ル……

○藻寄鉄五郎君 サウスルト政府ハ努メテ一地方以上ノ交通ニ要スル鐵道ハ早ク架ケル、併ナガラ先刻ノ政府委員ノ説明ヲ聽クト、是ハ國家經濟ノ如何ニ關係セズシテ必要カラ直ク架ケルト云フコトハ言ハレヌト思フ、私設ナラバ架ケルト出來ルガ、第一條ノ規定ガアルカラ架ケラレナイ、又政府ガ架ケルト出來ヌト云ヘバ、政府ガ交通運輸ノ便ヲ計ルト云フガ、其結果ハ架ケラレナイト云フコトニナル、其邊ニ付イテハ懸念ガナインデアルカ

○政府委員仲小路廉君 此點ハ過日來繰返シ繰返シ申上ゲタ譯デアッテ、將來ノコトニ付キマシテハ、大體國家ニ必要ナル聯絡ト系統トヲ完ウスル上ニ於テ、一日モ速ニ政府ハ之ヲヤルト云フ考ヲ持ッテ居リマス、併ナガラ財政ノ點ヲ考ヘズシテ、ヤル譯ニハ參ラヌノデアリマスカラ、財政ノ許ス範圍内ニ於キマシテハ、將來出來得ルダケ努メテ速ニヤラウ、斯ウ云フ譯デアリマス

○坂口仁一郎君 私ハ鐵道ノ統一ト云フヨリハ、寧ロ普及ト云フコトヲ必要ト認メル、ソレデ先日一應質問ヲシタガ、唯漠然タル御答辯ヲ要領ヲ得マセヌガ、其後早速君カラ同一ノ質問ガアッテ、其答辯ニ依ッテ稍々疑ガ解ケマシタガ、マダ疑ガ殘ッテ居ル、是ハ後來鐵道ノ普及ヲ計ルトコトニ付イテハ政府ガイロノ調査ヲシテ居ル、其調査ノ概略ノ模様ヲ云ヘバ、一般ノ鐵道ノ收支ヲ特別會計ニシテ、其收支ノ中カラ追々ニ建設費ヤ改良費ヲ出シテ往クト云フ説明デアル、ソレニ付イテ私ニ一ツ疑ガアリマスガ、特別會計ト云フコトニナリマスレバ、凡ソ今之レカラ買上ゲルト云フモノハ、總テ國債デ償却スルコトニナッテ、チャント組入レラレテ居ルカラ、之ヲ御使ヒニナル譯ニハイカヌガ、併シ從來ノ官設カラ來ル一千万内外ノ收入ガアルト思フ、併ナガラ是ダケノモノヲ特別會計ニシテ往クト云フコトナラバ、總體ノ設備ハ出來ルダラウガ、一方ニハ歲出入豫算ノ三十九年度カラ四十八年度マデニ亘ッテ七千何百万圓カノ建設費ガ要ル、ソレカラ三十九年カラ四十一年マデ二箇年ニ亘ッテ、一千百幾ラト云フ改良費ガ要ル、此改良費及建設費ト云フモノハ、特別會計ノ中ニ矢張御加ヘニナル御積リデアルカ、是ハ矢張今迄ノ通り從來ヤリ來タ方法ニ據ッテ、遂行ナサルノデアアルカ、之ヲ第一ニ伺ヒタイ、ナセ之ヲ伺フカト云ヘバ、兎ニ角一千万圓ト云フモノヲ特別會計ノ方ヘ繰込シテ、ソレデヤラウト云フコト

ナラバ、相當ノ設備ハ出來ルデアラウト思フガ、ソレニ對シテ私ニ第二ノ疑ガアル、ト云フモノハ今日ノ一般財政ノ狀態カラ見テ、一千万圓ト云フモノヲ通常ノ此歲入ノ中カラ引去ルト云フコトヲ許スヤ否ヤ、是ガ第一ニ疑フトコロデアル、併シソレハ將來ニ屬スルコトデアルカラ、姑ク措クトシテモ第一ノ疑フデ居ル七千イクラニ、千イクラト云フ改良費ト建設費ガ、特別會計ニ繰入レラレト云ヘバ、一千万圓ノ金ハ大抵此方ニ使ッテシマハナケレバナラヌ、將來ハ新タニ建設ヲスルナリ、或ハ改良ヲスルナリト云フコトハ、殆ド出來ナクナリハセヌカト云フ懸念ガアルカラ、念ノタメニ之ヲ伺フノデス、ソレカラモウ一ツ此示サレタ參考書ニ依ルト、甲乙丙ト概數ノ見込ガ三ツニ現ハレテ居ルガ、此甲ト云フモノハドウ云フモノカ分リマセヌガ、是ハ二十倍ト云フコト、承知シテ居ル、ソレカラ丙ト云フモノハ建設費以内ト云フ本案中ニアル最高制限ヲ示サレタノデ、ソレヲ折衷シタモノガ、乙ト斯ウ考ヘテ居リマス、他ノモノハ姑ク措キテ、此中ニ非常ナ差額ノアルモノガアル、一例ヲ舉ゲテ云ヘバ、高野鐵道ノ如キ、甲ニ於テハ僅ニ三十七万圓カソコラデ以テ、賠償見込價格ガ出テ居ル、是ガ丙ニ往クト百六十何万ト云フモノニナッテ居ル、ソレカラ乙ニ往クト九十九万イクラト云フコトニナッテ居ル、實ニ非常ナ差額ガアルデアリマス、斯ウ云フモノハドウ云フ處置ヲナサルカト云ヘバ、此規定中ニアル、審査會トカ何トカ云フ方法ニ據ッテ決定ヲナサルト云フヤウナコトニナッテ居リマスガ、少シノコトデアルナラバ格別ナ話、斯ノ如キ三十七万、百六十何万圓ト云フ大キナ差ガアル、コンナ大キナモノヲ審査會ニ掛ケテヤルコトニナレバ、イロノ弊害ガ起リハセヌカ、隨分種々ナル弊害ガアリハセヌカト思ヒマスガ、ソレ等ニ對シテハドウ云フ御考ガアルカ、又第二ニ伺ヒタイノハ、私設鐵道法ニ依リマス、二十五年度目ニ買上ゲルトキニ相場ノ標準ガ凡ソアル、ソレハ時價ニ依ルト云フヤウナコトニナッテ居リマス、併ナガラ其時價ノ平均額ハ益金ノ二十倍以上ニ達スルキハ、二十倍ニ止メルト云フ風ニアッタカト記憶シテ居リマス、シテ見マスラバ益金ノ二十倍ト云フモノガ、凡ソ最初ニ私設鐵道條例ニ依ッテ許可ヲナサルトキカラ一ノ約束ノ如キモノニナッテ居ル、然ルニ此一方ニハ年限ノ滿タナイトキデアルカラ、特別ノ取扱ヲナサル積リデアルカモ知レナイケレドモ、建設費以内ト云フコトノ法ガ別ニゴザイマスガ、故ニ建設費ニ達シナイトコロノモノハ協定ヲスルト云フヤウナコトガゴザイマス、故ニ今ノヤウナ高野鐵道ノ如キ妙ナモノガ出テ來マス、ソレハ前ノ私設鐵道法ニアリマスルトコロノモノト、此法案トノ間ニ差ノアリマスルノハ、ドウ云フ所以デアルカ、餘リ餘計ノ理由ガナカラウト思ヒマスケレドモ、念ノタメニ伺ッテ置キタイ、先ツ伺ヒタイノハ此一ツデアリマス、其外細カナコトガゴザイマスケレドモ――

(午後二時願ヒマス「ト呼フ者アリ」)

○委員長長谷場純孝君 今ノ答辯丈ハ聞キマセウ

○政府委員工學博士平井晴二郎君 唯今坂口君カラノ御尋ハ、昨日デアリマシタカ、遞信次官カラ鐵道ノ將來ノ計畫ニ付イテハ、特別會計ニシテ經營ヲスルモノデアルト云フコトヲ申シタガ、唯今議會ノ協賛ヲ經テ成立シテ居ルトコロノ建設費ノ殘額七千有餘万圓、並ニ改良費ノ殘額千五百万圓ト云フモノハ、矢張特別會計ノ中ニ入レテ整理ヲスルノデアアルカ、若クハ他ノ經常部カラ支出ヲ仰グノデアアルカト云フコトデアッタカト思ヒマス、是ハ勿論遞信次官ノ申上ゲマシタ特別會計ノ中ニ入レル見込デアリマスノ

ミナラズ、北海道ノ鐵道敷設費ノ殘額七百萬圓バカリト思ヒマスガ、是モ合セテ特別會計ノ中ニ入レルノデゴザイマス、サウスレバ御問ノ要旨ハ現在官設鐵道ノ利益トシテ國庫ニ納メテ居ル千百萬圓、若クハ二百萬圓ノ金額ヲ經常部ヲ失ウテシマフノデヤナイカ、斯ウ云フ御要點ト思ヒマス

○阪口仁一郎君 サウデハナイ、特別會計ノコトハ無論サウナルノデアリマス、今ノ特別會計ノ方ニ入レテナサルコトニナルト、一千イクラノ收入ガアリマシテモ、ソレハ總テ其方ニ取ラレテシマフ、此現在ノ豫定以外ニイクラノ改良ガ出來ヌ、イクラノ延長ヲ圖ルコトハ出來ナイデハナイカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス

○政府委員工學博士平井晴二郎君 分リマシテ、現今官設鐵道ガ益金トシテ一般會計ニ繰込シテ居リマス、千百餘萬圓ト云フモノ、内、三十七年度末マデニ鐵道ノ資本トシテ政府ガ得テ居ル金額ガ、一億六千有餘圓アルノデゴザイマス、是ノ利息假リニ五分ト見積レバ、八百萬圓位ト云フモノハ大藏省ガ一般會計ニ向ケタ千百萬圓ノ内カラ拂ツテシマフノデアアル、其差引三百萬圓バカリノモノガ、一般會計ノ財源ニ當ツテ居ルノデゴザイマス、今申上ゲタヤウニ從來ノ官設鐵道又今後敷設スベキ鐵道並ニ既成ノ鐵道ニ對スル改良ノ費用及今同提案ヲ致シテ居リマス私設鐵道ヲ買上ゲタモノヲ一ノ特別會計ニ致シマシテモ、此鐵道資本ニ對スル利息ハ、矢張大藏省ハ是ハハ納メルノデゴザイマス、而シテ阪口君ノ疑念アル七千何百萬圓ノ建設費、若クハ八千何百萬圓ノ改良費、及北海道ノ敷設費ト云フモノハ、ドウシテ政府ハ出シテ往クカト申シマシレバ、是ハ御承知ノ通り事業公債ノ財源ニ仰グ、サウシテ其利益ハ年々既成ノ鐵道ノ利益ガ増進シテ往キマスカラ、之ヲ以テ優ニ拂ヒ得ルノデゴザイマス、又後トノ御問ニ對シマシテハ、鐵道局長カラ御答ヲ致シマス

○政府委員山之内一次君 今御尋ノ甲乙丙ノ買收ノ繰込調ノコトニ付キマシテ、十分御了解ガナイヤウニ思ヒマスカラ、ソレニ付イテ段々御疑感ガアルヤウデアリマス、ソレヲ申上ゲマス、其甲ト申シマスモノハ

○阪口仁一郎君 ソレヲ聞クデハナイ、是ニ依リマスト高野鐵道ノ如キ非常ノ差ガ生ジテ來ル、其差ノ生ジタモノヲ審査委員ノ決定ニ任セルト云フコトニナルト非常ナ弊害ガ出來ル

○政府委員山之内一次君 ソレヲ申上ゲルタメニ今御話ヲスルノデアリマス、前カラ申上ゲマセト分ラヌカラ申上ゲル譯デアリマス、即チ甲ト申シマスモノハ、益金ノ二十倍ガ建設費ニ達シナイ時分ニハ、建設費以內ノ協定額ト云フコトニナリ居リマスカラ、其協定額若モ益金ノ二十倍ト云フモノノデアルトスレバ、是ダケ價格ニナルノゴトト云フコトヲ調ベタノガ甲、ソレカラ乙ト云フモノハ、建設費ト其益金ノ二十倍ト折半シタモノト假リニ定メレバ、斯ウ云フモノニナルト云フコトヲ調ベマシタノガ乙、ソレカラ丙ハ最極度ノ建設費ト致シマスレバ、斯ウナルト云フ唯參考ヲ現ハシタノデ、ソレガ愈々協定ヲシテ、ドレデ買上ゲルカト云フコトハ、其三ツノ中デヤラル、ヤラ、其以外ニナルヤラ、ソレハ別問題デアリマスノデ、唯其大體ノ狀態ノ分リマスタメニ、低イトコロノ極度ト高イトコロノ極度ト、其中間ノ三ツヲ現ハシマス、買收價格ト云フモノ、大體ガ分ルコトニナリマスカラ、便宜ノタメニ此三ツヲ出シマシタノデ、ソレデ極度ト極度ト比ベマス、大變ナ差ガアルコトハ當

然ノコトデアラウト思ヒマス

○委員長長谷場純孝君 暫ク休憩シマシテ、午後一時カラ更ニ開會致シマス

午後零時三十分休憩

午後一時十七分會議

○委員長長谷場純孝君 是ヨリ午前ノ會ニ引續キマシテ、鐵道國有法案ノ委員會ヲ開キマス、村松龜一郎君

○村松龜一郎君 私ハ至ッテ簡單ナコトデ先刻坂口君ガ質問ニナッタノガ、マダ御答辯ガナイ、一ヶ條ガアリマシテ同ジコトデアリマスカラ、合セテ御答辯ヲ得タイト思ヒマス、私設鐵道法ニ依ッテ各會社ニ營業年限ト云フモノヲ附與シテ、サウシテ其營業年限後ニ株券ノ時價ニ相當價格ヲ以テ買上グルコトガ、矢張私設鐵道法案ニ規定シテアル、ソレカラ又日本鐵道會社ノ如キハ所謂特許條約ナルモノノ第二十八條ニ於テ、株券ノ時價相當ヲ以テ買上ゲノ價格ト爲スヘシト云フコトガ書イテアル、ソレデ此特許條約ナルモノハ、過日政府委員ノ御答辯ニ依レバ、一ノ行政命令ナリト云フ御答アッタガ、サウ云フ行政命令ト見ルベキヤ否ヤト云フコトハ、別問題トシテ、兎ニ角是ガ大體ニ於テ行政命令トシタトコロガ、第二十八條ノ價格ヲ定ムト云フモノハ、是ハドウシテモ私權ニ屬スルモノデアッテ、之ヲ以テ行政命令デアルカラト云ウテ、自由自在ニ何人デモ變更ノ出來ヌモノデアラウト思フ、縱令ヒ政府ト雖モ時價ノ價格ヲ定ムルノガ行政命令デアルカラ、自由自在ニ之ヲ改廢スルコトガ出來ルト云フ御見解ハ、マサカニ御採リニハナルマイト私ハ思フノデアリマス、果シテサウナレバ此株券ノ時價相當ヲ以テ買上ゲノ價格トスルト云フコトガ、日本鐵道會社ト政府ト間ニ合意デ出來テ居ルト致シマス、明治十五年一月カラ五十箇年後ニ於ケル株券ノ時價ノ相當價格ヲ以テ買上グルコト、今日此政府案トシテ出テ居リマス鐵道國有法案ニ於テ定メタルコトノ價格ト、ドウ云フ數字ノ上ニ相違ガアルカ、若クハ相違ガナイカ、矢張五十箇年後ニ株券ノ時價相當ヲ以テ買上グル價值段ト、ソレカラ今日此法案ニ於テ定メタル買上價值段ト、數字ノ上ニ損得ガアルカナイカト云フコトヲ承リタイ、若シ損得ガナイトアレバ、ソレマデノコトデアルガ、損得ガアッテ、若シモ鐵道會社ニ損ガアルト云フヤウナ數字ガ出レバ、其損失ハ何ニ依ッテ混和セシムルト云フ原理ガドコニアアルカト云フコトガ一箇條、モウ一ツハ私設鐵道法ニ依ッテ二十五箇年間ハ營業年度ヲ許可シテアル、ソレカラ日本鐵道株式會社トハ第二十七條ニ依ッテ五十箇年、即チ來ル明治六十四年十一月マデハ營業年限ヲ保障シテアルノデアアル、之ヲ行政命令ト見ルカラ、國家ノ必要ニ依ッテ蹂躪スルコトガ出來ルト云フ御見解デアアルガ、其見解ノ當否ハ暫ク措イテ、之ヲ蹂躪スルコトガ出來ル、即チ奪フコトガ出來ルシテモ、之ヲ奪フト同時ニ國家ハ相當ノ償ヒト云フモノヲ遣ラナイト、無償ニ奪フト云フ、亂暴極マルコトニナル、又決シテ爲スベキコトデハナカラウト思ヒマス、此五ヶ年ノ營業年限ノ權利ニ對スルコト、若クハ二十五ヶ年ノ營業年限ニ對スル權利ニ對スル賠償ハ、此買收規則ノ中ニ見積ツテアルカ否ヤ、若シ見積ツテアルトスルナラバ、其數字ヲ承リタイ、此二ヶ條ヲ質問致シマス

○政府委員仲小路廉君 御質問ノ要旨ハ私設鐵道法デ或年限ヲ極メテ居ッテ、マダ其期間ノ滿了セヌ前ニ更ニ今度ノ法律ヲ以テ短縮スルト云フコトハ、私權ノ蹂躪デ

ハナイカ、假リニソレハ蹂躪デナイト見テモ、其満了後ノ状態ト、今日ノ有様トハ比ベマシテ、ドウ云フ風デアルカ、ソレカラ尙日本鐵道會社ニ付イテノ御問ノ趣旨モ同様ノ御趣意ト解釋致シテ居リマス、過日モ既ニ申上ゲマシタ如クニ、日本鐵道會社ニ對スル命約書ナルモノガ一ツノ條約デアルカドウカ、言換ヘレバ立法ノ行動ヲ以テシテモ、是ノ變更ガ出來ナイカドウカト云フコトハ、是ハ明白ナ譯ト政府ハ存シマス、申上ゲルマデモナイコトデゴザイマスガ、條約云々ト云フコトハ若シモサウ云フヤウナコトニナリマシタナラバ、恰モ日本帝國ガ他ノ獨立國ニ對シタ一種ノ條約デアルカノ如キ感ヲ持ツ譯デアル、結局立法ノ方法ヲ以テシテモ變更ガ出來ナイト云フコトニナリマシタラ、ソレハ大變ナ話デス、國家ガ必要ト認メ、サウシテ相當ニ變更ヲシヤウト云フ時分ニモ變更ガ出來ナイ筈ニナル、ソレデ其御趣意ニ付イテ五十箇年後ノ豫定、此五十箇年後ノ見据ヘヲ只今付ケト云フコトハ、隨分困難ナ譯デアリマス、又數字ヲ以テ明白ニスル譯ニハ到底參リマセヌ、其點ニ付キマシテハ政府ノ考デハ此度三十五年度ノ下半期ヨリ三十八年度ノ上半期ノ純益ヲ本ニシテ、サウシテ此價格ノ評定ヲ致シマシタ、此上カラ考ヘテ見マスルト、其保障ノ價格ハ決シテ不當ナモノデゴザイマス、將來ノモノヲ其中ニ見越シテ居ルカドウカト云フコトハ、確カニ見越シテ居ルトハ申シマセヌガ、併シ割合ハ餘程宜イ、此割合ヲ以テ考ヘテ見マスレバ、決シテ殘リノ期間内ニ於ケル利益ヲ見捨テ、願ミナイト云フ譯デハゴザイマス、二十八年度ノ上半期ノ配當ノコトハ、結局ドチラカト云フト以上ノ状態ヨリハ割合ガ好クナッテ居ル譯デアリマス、其略、各會社ニ對スル今日ノ状態ト、満了後ノ状態トハ、ドウカト云フ略ノコトハ申上ゲルコトガ出來ヤウト思ヒマスガ、唯明白ニ數字ニシテト云フコトハ申上兼ネマスガ、略、斯ウ云フ譯デアルト云フコトハ一通リ申上ゲテ宜カラウト思ヒマス、其點ハ更ニ鐵道局長カラ略、コナ割合デアルト云フコトヲ申上ゲマス

○村松龜一郎君 其年限ニ對スル權利ヲ取上ゲル代リノ保障が見込デアルカ否ヤ
○政府委員山之内一次君 唯今ノ御尋ニ付イテ御答致シマス、此買收價格ヲ定メマシタノハ、即チ法律ノ第五條ニ依ッテ明白ナコト、思ヒマスガ、是ハ先刻阪口君ノ御尋モ矢張關聯シタ問題デアリマスカラ、丁度兩方ニ御分リニナルヤウニ御答致シマス、是ハ買上ゲルトコロノ方法ト致シマス、矢張り會社ノ利益ニナルヤウニ出來テ居リマス、ソレハ詰リ二十五ヶ年ニモ達シナイ前ニ必要ヲ認メテ買フノデアリマスカラ、多少私設鐵道法ニ揭ゲテアルヨリモ、會社ノ方ニ利益ヲ遺ル方ガ至當ナコトデアルト云フ考ガ這入ッテ出來テ居ルノデアリマス、私設鐵道法ニ揭ゲテアルマスノハ、阪口君モ先刻御話デアリマシタガ、其買收ヲ致シマスル時分ニ前五ヶ年ノ株ノ平均相場ヲ見テ、ソレカラ又純益配當書ノ二十倍ト云フ數ト比較シマシテ、サウシテ其廉イ方法デ、廉イ方ヲ政府ハ擇ンデ買フ、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレデ勿論二十五ヶ年經テマシタ後ハ、株ガドウ云フ價ニナルカト云フコトハ、今日カラ豫定ハ出來マセヌガ、先ヅ從來ノトコロノ價ヲ見マスルト、殆ンド其話ニモナラヌ位ノ、五箇年ノ平均ト云フモノハ、非常ニ廉イモノニナッテ居リマス、ソレカラ二十五ヶ年經ッテ、其株ノ價ノ方デナイ、配當金ノ二十割ト云フ方カラ申シマス、即チ御承知ノ通り配當金ト云フモノハ利益金ノ中カラ積立金其他繰越ノ金等ハ、皆ヲ引立ッタモノガ配當ニナリマスノデアリマスカラ、此度

ノヨリモ其割合ガ惡クナル譯ニナリマスノデ、何レニシテモ、サウシテ兩方比較シテ廉イ方ヲ取ルノデアリマス、此度ハ純粹ノ利益ト云フ、而モ純粹ノ利益金ト云ヒマシテモ、年々ノ建設費ト利益金ト云フモノト較ベテ往クノデ、其割合ヲ取ッテ、割合ノ平均ヲ取ルト云フコトニナッテ居リマスカラ、此法律ニアリマス方法ヨリモ、其點ニ於キマシテモ尙利益ニナッテ居リマス、私設鐵道法ニアルハ純益ノ配當金ノ配當ト云フコトニナッテ居リマスカラ、ソレデカラ多イトキデモ少ナイトキデモ、矢張實數ノ平均ヲ取ルノデアリマス、此度ノハ方法ヲ異ニ致シマシテ、矢張建設費カラ利益ヲ產出スモノト致シマシテ、皆詰リ建設費一千万圓ノトキデモ、一千五百萬圓ノトキデモ、其割合ノ平均シタモノカラ往クノデアリマスカラ、私設鐵道法ニアリマスルヨリスルト、餘程純益ガ加ヘテアル、サウ云フ譯デアルカラ、其何カ特別ニドウ云フ數ヲ見込シテアルカト云フコトノ御尋ハ、ソレノ特別ヲ見込ト云フコトハ言ヘヌカモ知レヌケレドモ、既ニ其二十五ヶ年ニ達セヌ前ニ買フ代リニハ、餘程利益ニ計算ヲシテアルト云フコトハ、ソレデ御分リデアラウト思ヒマス

○村松龜一郎君 前ノガハ御答ハ詰リ日本鐵道株式會社トノ五十箇年ノ特許、五十箇年後デナケレバ、買上ゲヌト云フ一ツノ權利ヲ兎モ角附與シ、法律ヲ以テ奪フコトガ出來ルヤ否ヤハ別問題デ、出來ルト假定シテ、其權利——法律デ與ヘタニ二十五箇年ノ權利、之ヲ奪ウト云フノハ、相當ノ補償ガナケレバナラヌ、即チ營業年限ノ權利、之ニ對シテ見積テアルカ否ヤト云フコトヲ唯簡單ニ御答ヲ願ヒタイ、見積テアルバ數字ハ何處ニアルカト云フコトヲ承リタイ、所ガ今ノ御答辯ハ分ラナイ、要領ガチツトモ分ラナイ

○政府委員山之内一次君 會社全体ノ權利義務ヲ引受ケルノデアルト云フコトハ、此第四條ニ書イテアルマシテ、サウシテ其買收價格ト云フモノハ、斯ウ云フモノデアルト云フコトヲ五條ニ書イテアルマスカラ、茲ニ書イテアル以外ノ數字ト云フモノハナイノデアリマス

○村松龜一郎君 サウスレバ此年限ノ權利ニ對シテハナイ

○政府委員仲小路廉君 其點ヲ先刻鐵道局長カラ詳シク申述ベシタノデ、年限ニ關スル分ヲ數字ニシテ見積ッタト云フコトハ申上兼ネマスガ、今申シマスル通り譯合デ、此率ヲ極メマス元方モ餘程割合好ク見デヤッタノデアリマス、ソレニ依リマスレバ政府カラ出スベキ分ハ、相當ノ補償デアッテ、多少將來ノ分モ見越シテアルガ故ニ、割合ニ好イ價格ヲ以テヤッタト、斯ウ云フ趣意ニナリマス、一々其數字デ、ドウト云フコトハナイヤウナコトニナリマスカラ、其事ハ申上兼ネマスガ、其割合ニ見込シテアル、ソレハ詰リ數字デ申スコトハ出來マセヌガ、幾ラカ此私設鐵道法ノ分ヨリモ割合宜クナルト、斯ウ云フコトニナル

○金岡又左衛門君 本案ノ買收價格ニ付キマシテハ明治三十五年ノ下半期ヨリ三十八年ノ上半期ニ至ル六營業年間ノ益金ト云フモノデ、算出スルト云フコトハ、之ハ明瞭デアリマスガ、所ガ申スマデモナク本案ハ三十九年カラ四十九年度マデ、詰リ六箇年間ノ間ニ買收スルノデアリマスカラシテ、茲ニ或會社ガアリマシテ、其會社ハ既ニ三十五年カラ八年マデノ打算ニ依ッテ價格ガ評定サレテ居リマスカラ、自身ノ會社ガ買收サレルマデノ間ハ、努メテ無理ヲシテ、サウシテ爲スベキ修繕モ行ハズ、又施スベ

キ改良モ施サズシテ、専ラカヲ利益ノ配當、株主ニ對シテ一厘デモ餘計ニ配當スルヤ
ウナコトニシハナイカ云フコトハ、之ハ一ツノ疑問アル、ソレニ對シテ當局者ハ先達
其事ニ付イテハ十分政府ハ監督ヲ積リタル、或ハサウ云フヤウナコトガアル、監
督ガ事實ニ於テアルカモ知レヌケレドモ、政府ハ十分ニ監督シテ、斷ジテ左様ナコトハ
サセナイト、サウ云フコトニ付イテハ政府ハ十分ニ監督シテサウ云フコトノナキヤウニ
努メル積リアリマス、之ハ無論サウ云フコトハナイヤウニ致スデアリマス云フコトハ、遞
信大臣ガ明言サレテ居リマス、而シテ又尙ソレニ加ヘテ、山之内君ハ一步進シテ、ソ
レヲ説明シテ言ハル、ニハ、若シ度々會社ニ命令ヲシテ、工事をサセタイト云フコトヲ命
令スル、然ルニ會社ガ言葉ヲ左右ニ托シテ之ヲシナイ以上ハ、政府ハ命令權ヲ以テ、
政府ガ自カラ其工事を行フ、サウシテ其經費ハ會社カラ取立タルト云フコトノ職權
モ政府ハ持テ居ルノデアル、殊ニ又買収スルトキニハ、特ニ買収局ト云フモノヲ設ケ、
其買収局トソレカラ鐵道局ト双方ガ十分ニ監督ヲシテヤラセルデアルカラシテ、會社ガ
會社ノ利益ノタメニ施スベキ修繕モ改良モ行ハレヌト云フトキニハ、政府ハ此方法ニ依
テ十分監督スルデアルカラシテ、其監督ハ十分ニ行居クノデアルト云フコトハ、繰返シ
明言サレテ居ル、然ルニ昨日武富君ノ質問ニ對シテ、武富君ハ今ヨリ六七七年ノ後ニ
買収スルモノヲ、六七年前ニ遡テ利益ノ標準ニシテ定ムルト云フコトハ、如何ニモ不
公平デハナイカ、例ヘバ三十五年カラ八年ノ間ハ、利益ガ相當ニアラデモ、其後時勢ノ
變遷ニ依テ其線路ガ非常ニ利益ガ減少シテ、サウシテ彌買収サレテ會社ノ金ヲ度
付ケル時分ハ、非常ニ利益ガ減ジテ居ルト云フ會社ガアル、又其反對ニ三十五年ハ
間ハ利益ガナクテモ、四十年以後ニナツテ餘程利益ガ増加シテ居ルト云フ會社ガナイデ
モナイ、サウ云フコトニナルト如何ニモ此不公平ナル處置デハナイカト云フ質問ニ對シテ、
政府ハソレハ一應ハ御尤デアレドモ、若シモサウ云フヤウナコトニシテ買上ゲタルトキ
ニ、利益ニ依テ之ヲ買上ゲタルト云フコトニスルト云フコトハ、種々ナル弊害ガ起ツテ、如
何ニモ其弊害ヲ杜絶スルト云フコトハ、頗ル困難デアル、詰リ監督スルト云フコトハ行居
カナクナル、ソレ故ニ前以テ此三十五年カラ八年ノ間ノ利益ヲ以テ標準ニスルヨリ仕方
ガナイ、若シモサウセズニ、四十年若クハ四十二年ニ買上ゲル線路デアッデ、其時ノ利益
ニ依テ計算スルト云フコトニナルト、會社ガイロノ方法ヲ設ケテ會社ノ利益ニナル
ヤウニスル、其場合ニ當テ政府ハ監督スルトコトハ頗ル困難デアル、ソレ故ニ其弊ヲ防グ
ガタメニ、三十五年カラ八年マデト云フコトニ切ツタノデアル、斯ウ云ウ答辯デアル、サウス
ルト云フト先キノ答辯ハ私立會社ニ對シテハ、十分監督ガ出來ル、若シ監督ガ利カナケ
レバ、政府自カラ手ヲ下ス、其工事を引受ケルトマデ斷言サレテ居ル、昨日ノ答辯ハソ
レニ反對デ、私設會社ヲ監督スルトコトハ困難デアルト云フ御答デアル、我々ハ何レヲ信ジ
テ宜イカ、殆ド此案ニ協賛ヲ與ヘ、此案ノ利益ヲ算出スルニ當テ頗ル苦ム、前ノ遞信大
臣及山之内君ノ答辯ト、昨日ノ遞信次官ノ答辯トハ矛盾シテ居ルヤウニ思フ、此點ハ
ドチカラ實デアルカ、政府ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員仲小路廉君 政府ノ趣意ハ矛盾シマセヌデアリマス、政府ハ會社ニ
對シテ出來得ル限り監督ノ方法ヲ取リマス、鐵道法ナリ何ナリテ許サレタ方法トシテ出
來得ル限り、監督ノ方法ヲ取リマス、各會社ノ方デハ種々ノ方法ヲ以テ價格ヲ高メヤウ
トスルニ相違ナイ、ソレデ種々ノ混雜ヲ生ズルコトハ喜バシイコトデナイカラ、實際ノ弊害
ヲ防遏スル手段ハ取り、一方ニ監督ヲ遣リ、一方ニ立派ニ遣テ往カウト云フコトヲ立
法ノ趣旨トシテアリマス

○新井章吾君 昨昨日政府委員ニ御尋シテ、橫濱鐵道ト備後鐵道ト關スル建設
費ノ御調ヲ願フデ置キマシタガ、其御調ガ出來マシタナラバ、御答ヲ願ヒタイ、尙御尋シ
タイノハ橫濱鐵道ノ如キハ、第二條ニ當テ當マシタルモノデアル、然ルニ此買上ノ標準ハ
建設費内ニ於テ買上ゲタルト云フコトニナツデ、是等ノ會社ニ取ッテハ甚ダ氣ノ毒ナ程不
利益ニナツテ居ル、何トナレバ橫濱鐵道ノ現在ノ株ハ、確カ十二圓五十錢拂込ト思ッテ
居リマスガ、ソレデモ現在ノ時價ハ拂込以上非常ニ高ク上ツテ居ル、是ガ買上ゲタル、コ
トニナツデ、建設費以内ニ於テ買上ゲタル、コトニナレバ、會社ニ取ッテハ非常ニ困難デ
アル、非常ニ損害デアル、殊ニ氣ノ毒ト思フノデアル、政府ハ之ニ對シ建設費以内ニ於テ
買上ゲタルトモ、又他ニ賠償トカ補償トカ其他ノ方法ヲ以テ、是等會社ニ向ッテ恩典ヲ
與フルノ御考デモ有ルノデアルカ、サウ云フコトハ一切セズ、建設費以内ニ於テ買上切リ
ノ御方針デアルカ、御尋シタイ

○政府委員山之内一次君 橫濱鐵道、備後鐵道ノ建設費ノ御尋デアリマスガ、是
ハマダ仕事ガ極ク僅シカヤデ居リマセヌデ、今現在ノ下位建設ニナツテ居リマスガ、急
ニ分利兼ネマスノデ、今取調ベテ居リマスガ、併ナガラ僅シカ無イ積リデアリマス、拂込
デアル拂込株金ト建設費ト違ヒマスガ、今急ニ分利マセヌ、又買上ゲルカ買上ゲヌカ
ハ不明デアリマスケレドモ、買上ゲマシタ時分ハ、建設費以内デアッデ、最極度ガ建設費ト
致シテ居リマス

○新井章吾君 賠償等ハゴザイマセヌカ

○政府委員山之内一次君 昨昨日政府委員ニ御尋シテ、橫濱鐵道ト備後鐵道ト關スル建設
費ノ御調ヲ願フデ置キマシタガ、其御調ガ出來マシタナラバ、御答ヲ願ヒタイ、尙御尋シ
タイノハ橫濱鐵道ノ如キハ、第二條ニ當テ當マシタルモノデアル、然ルニ此買上ノ標準ハ
建設費内ニ於テ買上ゲタルト云フコトニナツデ、是等ノ會社ニ取ッテハ甚ダ氣ノ毒ナ程不
利益ニナツテ居ル、何トナレバ橫濱鐵道ノ現在ノ株ハ、確カ十二圓五十錢拂込ト思ッテ
居リマスガ、ソレデモ現在ノ時價ハ拂込以上非常ニ高ク上ツテ居ル、是ガ買上ゲタル、コ
トニナツデ、建設費以内ニ於テ買上ゲタル、コトニナレバ、會社ニ取ッテハ非常ニ困難デ
アル、非常ニ損害デアル、殊ニ氣ノ毒ト思フノデアル、政府ハ之ニ對シ建設費以内ニ於テ
買上ゲタルトモ、又他ニ賠償トカ補償トカ其他ノ方法ヲ以テ、是等會社ニ向ッテ恩典ヲ
與フルノ御考デモ有ルノデアルカ、サウ云フコトハ一切セズ、建設費以内ニ於テ買上切リ
ノ御方針デアルカ、御尋シタイ

○政府委員山之内一次君 橫濱鐵道、備後鐵道ノ建設費ノ御尋デアリマスガ、是
ハマダ仕事ガ極ク僅シカヤデ居リマセヌデ、今現在ノ下位建設ニナツテ居リマスガ、急
ニ分利兼ネマスノデ、今取調ベテ居リマスガ、併ナガラ僅シカ無イ積リデアリマス、拂込
デアル拂込株金ト建設費ト違ヒマスガ、今急ニ分利マセヌ、又買上ゲルカ買上ゲヌカ
ハ不明デアリマスケレドモ、買上ゲマシタ時分ハ、建設費以内デアッデ、最極度ガ建設費ト
致シテ居リマス

○新井章吾君 賠償等ハゴザイマセヌカ

○政府委員山之内一次君 昨昨日政府委員ニ御尋シテ、橫濱鐵道ト備後鐵道ト關スル建設
費ノ御調ヲ願フデ置キマシタガ、其御調ガ出來マシタナラバ、御答ヲ願ヒタイ、尙御尋シ
タイノハ橫濱鐵道ノ如キハ、第二條ニ當テ當マシタルモノデアル、然ルニ此買上ノ標準ハ
建設費内ニ於テ買上ゲタルト云フコトニナツデ、是等ノ會社ニ取ッテハ甚ダ氣ノ毒ナ程不
利益ニナツテ居ル、何トナレバ橫濱鐵道ノ現在ノ株ハ、確カ十二圓五十錢拂込ト思ッテ
居リマスガ、ソレデモ現在ノ時價ハ拂込以上非常ニ高ク上ツテ居ル、是ガ買上ゲタル、コ
トニナツデ、建設費以内ニ於テ買上ゲタル、コトニナレバ、會社ニ取ッテハ非常ニ困難デ
アル、非常ニ損害デアル、殊ニ氣ノ毒ト思フノデアル、政府ハ之ニ對シ建設費以内ニ於テ
買上ゲタルトモ、又他ニ賠償トカ補償トカ其他ノ方法ヲ以テ、是等會社ニ向ッテ恩典ヲ
與フルノ御考デモ有ルノデアルカ、サウ云フコトハ一切セズ、建設費以内ニ於テ買上切リ
ノ御方針デアルカ、御尋シタイ

○政府委員仲小路廉君 政府ノ趣意ハ矛盾シマセヌデアリマス、政府ハ會社ニ
對シテ出來得ル限り監督ノ方法ヲ取リマス、鐵道法ナリ何ナリテ許サレタ方法トシテ出
來得ル限り、監督ノ方法ヲ取リマス、各會社ノ方デハ種々ノ方法ヲ以テ價格ヲ高メヤウ

トスルニ相違ナイ、ソレデ種々ノ混雜ヲ生ズルコトハ喜バシイコトデナイカラ、實際ノ弊害
ヲ防遏スル手段ハ取り、一方ニ監督ヲ遣リ、一方ニ立派ニ遣テ往カウト云フコトヲ立
法ノ趣旨トシテアリマス

○新井章吾君 昨昨日政府委員ニ御尋シテ、橫濱鐵道ト備後鐵道ト關スル建設
費ノ御調ヲ願フデ置キマシタガ、其御調ガ出來マシタナラバ、御答ヲ願ヒタイ、尙御尋シ
タイノハ橫濱鐵道ノ如キハ、第二條ニ當テ當マシタルモノデアル、然ルニ此買上ノ標準ハ
建設費内ニ於テ買上ゲタルト云フコトニナツデ、是等ノ會社ニ取ッテハ甚ダ氣ノ毒ナ程不
利益ニナツテ居ル、何トナレバ橫濱鐵道ノ現在ノ株ハ、確カ十二圓五十錢拂込ト思ッテ
居リマスガ、ソレデモ現在ノ時價ハ拂込以上非常ニ高ク上ツテ居ル、是ガ買上ゲタル、コ
トニナツデ、建設費以内ニ於テ買上ゲタル、コトニナレバ、會社ニ取ッテハ非常ニ困難デ
アル、非常ニ損害デアル、殊ニ氣ノ毒ト思フノデアル、政府ハ之ニ對シ建設費以内ニ於テ
買上ゲタルトモ、又他ニ賠償トカ補償トカ其他ノ方法ヲ以テ、是等會社ニ向ッテ恩典ヲ
與フルノ御考デモ有ルノデアルカ、サウ云フコトハ一切セズ、建設費以内ニ於テ買上切リ
ノ御方針デアルカ、御尋シタイ

○政府委員山之内一次君 橫濱鐵道、備後鐵道ノ建設費ノ御尋デアリマスガ、是
ハマダ仕事ガ極ク僅シカヤデ居リマセヌデ、今現在ノ下位建設ニナツテ居リマスガ、急
ニ分利兼ネマスノデ、今取調ベテ居リマスガ、併ナガラ僅シカ無イ積リデアリマス、拂込
デアル拂込株金ト建設費ト違ヒマスガ、今急ニ分利マセヌ、又買上ゲルカ買上ゲヌカ
ハ不明デアリマスケレドモ、買上ゲマシタ時分ハ、建設費以内デアッデ、最極度ガ建設費ト
致シテ居リマス

○新井章吾君 賠償等ハゴザイマセヌカ

○政府委員山之内一次君 昨昨日政府委員ニ御尋シテ、橫濱鐵道ト備後鐵道ト關スル建設
費ノ御調ヲ願フデ置キマシタガ、其御調ガ出來マシタナラバ、御答ヲ願ヒタイ、尙御尋シ
タイノハ橫濱鐵道ノ如キハ、第二條ニ當テ當マシタルモノデアル、然ルニ此買上ノ標準ハ
建設費内ニ於テ買上ゲタルト云フコトニナツデ、是等ノ會社ニ取ッテハ甚ダ氣ノ毒ナ程不
利益ニナツテ居ル、何トナレバ橫濱鐵道ノ現在ノ株ハ、確カ十二圓五十錢拂込ト思ッテ
居リマスガ、ソレデモ現在ノ時價ハ拂込以上非常ニ高ク上ツテ居ル、是ガ買上ゲタル、コ
トニナツデ、建設費以内ニ於テ買上ゲタル、コトニナレバ、會社ニ取ッテハ非常ニ困難デ
アル、非常ニ損害デアル、殊ニ氣ノ毒ト思フノデアル、政府ハ之ニ對シ建設費以内ニ於テ
買上ゲタルトモ、又他ニ賠償トカ補償トカ其他ノ方法ヲ以テ、是等會社ニ向ッテ恩典ヲ
與フルノ御考デモ有ルノデアルカ、サウ云フコトハ一切セズ、建設費以内ニ於テ買上切リ
ノ御方針デアルカ、御尋シタイ

○政府委員山之内一次君 橫濱鐵道、備後鐵道ノ建設費ノ御尋デアリマスガ、是
ハマダ仕事ガ極ク僅シカヤデ居リマセヌデ、今現在ノ下位建設ニナツテ居リマスガ、急
ニ分利兼ネマスノデ、今取調ベテ居リマスガ、併ナガラ僅シカ無イ積リデアリマス、拂込
デアル拂込株金ト建設費ト違ヒマスガ、今急ニ分利マセヌ、又買上ゲルカ買上ゲヌカ
ハ不明デアリマスケレドモ、買上ゲマシタ時分ハ、建設費以内デアッデ、最極度ガ建設費ト
致シテ居リマス

○新井章吾君 賠償等ハゴザイマセヌカ

○政府委員山之内一次君 昨昨日政府委員ニ御尋シテ、橫濱鐵道ト備後鐵道ト關スル建設
費ノ御調ヲ願フデ置キマシタガ、其御調ガ出來マシタナラバ、御答ヲ願ヒタイ、尙御尋シ
タイノハ橫濱鐵道ノ如キハ、第二條ニ當テ當マシタルモノデアル、然ルニ此買上ノ標準ハ
建設費内ニ於テ買上ゲタルト云フコトニナツデ、是等ノ會社ニ取ッテハ甚ダ氣ノ毒ナ程不
利益ニナツテ居ル、何トナレバ橫濱鐵道ノ現在ノ株ハ、確カ十二圓五十錢拂込ト思ッテ
居リマスガ、ソレデモ現在ノ時價ハ拂込以上非常ニ高ク上ツテ居ル、是ガ買上ゲタル、コ
トニナツデ、建設費以内ニ於テ買上ゲタル、コトニナレバ、會社ニ取ッテハ非常ニ困難デ
アル、非常ニ損害デアル、殊ニ氣ノ毒ト思フノデアル、政府ハ之ニ對シ建設費以内ニ於テ
買上ゲタルトモ、又他ニ賠償トカ補償トカ其他ノ方法ヲ以テ、是等會社ニ向ッテ恩典ヲ
與フルノ御考デモ有ルノデアルカ、サウ云フコトハ一切セズ、建設費以内ニ於テ買上切リ
ノ御方針デアルカ、御尋シタイ

上ゲニナルト云フ御考デアルカ、山陽鐵道ノ聯絡船ハ此表ノ中ニ載ッテ居リマセヌガ、是ハ政府ノ方ニ於テハ買収スルカ、若シ山陽鐵道ノ聯絡船ノ如キモノヲ買収スルトシタナレバ、現在馬關ト釜山トノ間ノ聯絡船ハ、其實山陽鐵道ガ持ッテ居ッテ、表向キノ名義ハ鐵道會社ノ所有ニハナッテ居ルマイト思フガ、斯様ナモノガ鐵道會社ノ所有ニナッテ居ッテ、鐵道ノ營業ニ屬スルヤウナ物件、是等ノモノハ如何ナル處分ヲナサル御考デアルカ、是等ノモノヲ買上ゲルモノトスレバ、此聯絡船ノ如キ、其外表ニ載ッテ居ル以外ノ付屬物件ハ、價格ハ何程ニナルカ、伺ヒタイ其次ニハ内地ノ鐵道買収價格ハ、參考書トシテ表ガアルガ、此京釜鐵道ノ方ノ買収價格ノ關係ハ、參考書即チイロノ諸表ノ如ク、京釜鐵道ニ關係スル調書ヲ參考書トシテ御示シニナルコトヲ希望致シマス

○政府委員山之内 一次君 唯今ノ御尋ニ御答致シマス、此戰爭ノ關係ガ這入ッテ居ルノハ、ドモ戦争ノトキト云フモノハ、所ニ依ッテ幸不幸アリマシテ、ソレハ一緒ニハ往キマセヌ、ソレカラ年々如何ナル年デモ、其年ノ豐凶ヤ種々ナ關係ガアリマシテ、細カニ調査致シマス云フト、多少ノ違ヒガ起ルノデ、ソレハ一々斟酌シテ往クコトハ事實上ニ於テ甚ダ困難デアリマスシ、兎ニ角此法律ニ此度採リマシテ趣旨ハ、最近ノ二年ト云フ趣意デシテ、一率ニ往ク積リデアリマス、其最近モ度々遞信次官カラ話ノアリマシタ通り、此三十五年ノ下半年カラ三十八年ノ上半年マデニ致シマシタノデアリマス、ソレデ第一第二ノ御尋ハ御分リデセウ、兼業ニ付イテハ所謂買フコトヲ得ト云フコトニシテアリマスノデ、マダレバ買フ買ハヌト云フコトハコ、申兼業マス、サウシテ北海道炭礦ノモノガコニ這入ッテ居ルカ、ドウカト云フ御話デアリマスガ、現ハレテ居リマス、北海道鐵道ヲ買フト云フハ僅ニコンナヤウニ算出シ、イロノ名義ガ參考書ニアッテ、愈買フカ買ハヌカト云フ、其外ノ兼業ハ別ニ出シテ居リマセヌケレドモ、此中ニ皆含シテ居ルノデナゼト云フニ極ク小サナ數デアデ、鐵道ト云フ中カラ申シマス、殆ド數ニナラナイ位ノ小サイモノデアデ、分ツコトガ甚ダ困難デアタカラ、一緒ニ含シテ居リマス、其中ニ極ク小サイモノハ——ソレカラ馬關ト釜山ノ聯絡船ハ山陽鐵道ガ内實持ッテ居ルガ、アノ買収ハドウカト云フ御尋デアリマスガ、内實ハドウカ知リマセヌガ、兎ニ角別ノ會社ノ名ニナッテ居リマスノデ、——全ク山陽鐵道會社トハ別ニナッテ居リマスカラ、是ハ買収シ得ル方ニ這入ッテ居リマセヌ(「詳シイモノハゴザイマスカ」ト呼フ者アリ)ソレハアトカラ差上ゲル積リデ今菊池版ニ刷ッテ居リマス

○岡田治衛武君 極ク簡單ニ伺ヒマス、唯今ノ御答ハ要領ヲ得ナイ所ガアリマス、此第十八條ノ「買収ヲ受クヘキ會社カ兼業ヲ營ム場合ニ於テハ其兼業ニ屬スル資産ヲ併セテ買収スルコトヲ得」ト云フ法文ニ依ルト云フト、如何ナル兼業デモ買収スルコトヲ得ルト云フコトハ、廣イ意味ニナッテシマフガ、若シモサウ云フ廣イコトデ、ナンドモカンデモ兼業ヲ營ムモノハ、例ヘバ唯今ノナタカ御尋ニナッテ北海道鐵道ガ炭礦ヲ營業スルコトヲ得ト、斯ウ云フコトニナルト、所謂政府萬能主義デ、鐵道ヲ統一シタメニ、ソレニ付屬スル營業ハ、工業デモ商業デモヤルト云フヤウナ非常ノ廣イ意味ニナルガ、蓋シ本員ノ思フノハサウ云フ意味デハアルマイ、是ハ即チ兼業トシテ一般ノ交通ニ屬スル運輸——運送事業ニ屬スル性質ノモノヲ買収スル意味デアルト思ヒマスガ、併シ此本文テ見ルト云フト、サウ限ッテナイカラ、ドンナモノデモヤルト云フヤウニ見エル、ソレデ唯今ノ政府委員ノ御答ガアリマシタガ、満足ヲシナイ、是ハ即チ運送事業ニ屬スル性質ノモノハ買収スルコトヲ得ルガ、運送事業ニ屬スル性質ノモノハ買収スルコトハナイ、ソレヲモ此以外ノモノヲモ都合ニ依ッテ買収シ得ルコト云フコトノ政府ノ意志ハ、モウ既ニ分ッテ居ラナケレバナラヌト本員ハ考ヘルノデ、此邊ノ意志ハ政府ハ如何ナル點ニ決定シテ居ルカ、明カニ答ヲシテ戴キタイ、炭礦ハ買フヤラ分ラヌト云フ御答デアルト、他ノ事業モ矢張り、買フヤラ買ハヌヤラ分ラヌト云フノハ非常ニ重大ナ關係ヲ及ボシマスカラ、コ、デ一ツ明カニ政府ノ意志ノアルトコロヲ明ニ答ヘテ置イテ貰ヒ、確メテ置キタイ

○政府委員山之内 一次君 ソレハ判然御答スルコトハ出來ナイノデアリマス、即チ判然御答スルコトノ出來ナイヤウナモノヲ文字ガ拵ヘテアリマスノデ、即チ之ヲ買フ買ハナイト斯ウ規定シテハナイノデ、其理由ヲ御考ヘニナルト云フト、此意志ノアル所ガ自然ニ御分リニナラウト思ヒマス、多少種々ナ會社ノ事情モアルシ、其邊ノトコロヲ大ニ斟酌スル必要ガアリマシテ、買収スルコトヲ得ト云フ餘地ガアリマスノデ——餘地ヲ拵ヘテアルノデ「得」ト云フコトハ買フノデアルト云フ明言ヲ付ケナケレバナラヌ、又ドウシテモ買ハヌノデアルト云フ——斯ウ云フ種類ハ買ハヌノデアルト云フコトノ御答ハ出來マセヌ、ソレハ今御話シマス通りニ、種々會社ノ事情ヤ何カ多少斟酌シナケレバナラヌ關係モアルカラ、ソコヲ書イタ所以デアリマス

○井上要君 判明ナ御答ヲ願ヒタイ、ソレデハ非常ニ曖昧ナ話ニナッテ、鐵道國有ト云フ本旨ニ悖リハシマイカ、鐵道ガ國有ニナレバ他ノ事業ノ兼業モ買収スルニ及バヌ、鐵道國有ノ本旨ガ立派ニ立チサヘスレバ宜イ、運送事業ニ關聯ノモノハ御説ノ如ク買収スルコトモアルデアラウ、又買収シナケレバナラヌ斟酌モアラウ、運輸交通ニ關係ノナイモノマデ買フノヤラ買ハヌノヤラ分リマセヌ、漠トシテ甚ダ鐵道國有ノ主義ニ戾ッテ居ルカラ、明カニ御答ヲ得タイ、ドウシテモ分ラヌカラ答ヘラレヌナラバ已ムヲ得マセヌガ……

○政府委員仲小路廉君 詰リ此鐵道ノ收支ニ關スルコトハ、略勘定シテ、從ッテ其他ノ分ハ買ハナイノデアアル

○委員長長谷場純孝君 チョット諸君ニ御諮リヲ致シマス、モウ大分質問モ盡サレタヤウニ思ヒマスガ、京釜鐵道買収法案モ同一委員ニ附托ニナッデアリマスカラ、是ヨリ此方ノ質問ガアルナレバ、同時ニ御質問アラントラ希望致シマス

○菊池武徳君 何分先刻ノ政府委員ノ答辯デハ満足ヲ得マセヌ、東海道線ハ他ノ鐵道ニ害メラレテ居ルト云フヤウナ、理由ニナラヌコトヲ理由ニシテ、答辯スルヤウナコトデハ、果テシガナイ此鐵道ヲ國有ニシナケレバ統一ノ計畫ヲ達スルコトガ出來ヌカ出來ルカ「ノウ」トカ「エス」トカノ二ツノ御話ガ承リタイ、ソレカラ鐵道ノ運賃ヲ法律ニ依ッテ極メルカト云フ質問ニ對シテハ、何等ノ御返辭モナイガ、其ハ大イナル利害關係ヲ持ッテ居マスカラ、政府ノ意向ノアルトコロヲ承リタイ

○政府委員工學博士平井晴二郎君 先刻菊池君ノ質問ニ對シテ、私カラ答辯ヲ致シマシタガ、重ネテ御尋ガアリマシタカラ重複ヲ願ミズ合一遍御答ヲ致シマス、鐵道ノ統一ヲ完全ニスルニハ、政府ハ官有ノ外ニ良法ナシト認メテ居リマス、ソレカラ運賃ノコトニ關シテハ、先刻本員ガ申シマシタ通從來ノ私設ノ運賃ヨリ上ゲヌノミナラズ、却テ下ゲル計畫ヲシテ居リマス

○長崎登君 動議アリマス、既ニ數日來ノ質問デ、モウ大概盡キ居ラウト思ヒマス、同一ノ趣意ヲ繰返シテ居テモ際限ガナイカラ、最早質問ヲ終結シテ、討論ニ移リタイト云フ動議ヲ提出致シマス

(「賛成々々」ト呼フ者アリ)

○委員長長谷場純孝君 マダ、西村君が昨日來發言ヲ求メテ居ラレカラ、西村眞太郎君ニ發言權ヲ與ヘマス

○西村眞太郎君 私ガ問ハントスルトコロハ、モウ大概諸君ノ質問デ盡サレテ居リマスガ、今一二點御尋ヲシタイト思フ、此買收スル價格デアリマスガ、益金ノ二十倍デ買フト云フコトニナッテ居ル、ソレカラ建設費ニ充テザルモノハ協定スルトアル、然ルニ之ヲ見テ見マスルト、高野鐵道ノ如キモ二十倍ト云フ計算法ニ依リマス三十萬圓、ソレカラ乙號表ニ依ッテ計算ヲ立テラレトコロニ依リマス九十萬圓、丙號ニ依リマス二百六十萬圓トナッテ居ル、デ甲ノ算出法デハ三十二萬圓、乙號デハ百萬圓、丙號デハ百萬六十萬圓、其差ヲ協定サレル事實計算ハ三十二萬圓カラ百萬六十萬圓ノ間ニ於テ、協定スルト云フノハ、詰リ範圍ノ廣イモノデアリマス、此協定ト云フ意味ハ其範圍内ニ於テ、イクラカ代價ヲ極メルト云フ意味デアリカ、假リ三十二萬圓ノ眞實ノモノヲバ、百萬圓ニ協定スルト云フコトニナルトスレバ、五朱ト云フ利率一朱ニ下ル、或ハ一朱五厘ニ下ル、其利益ヲ充タスタメニ斯クスルトデアル、ソレヲ此鐵道計畫ノ二十年トカ四十年トカ云フモノニ當テメテ鐵道經濟ガ持テラト云フコトハドウシテモ算出ガ合ハナイ、協定ト云フ意味ハ、ドウ云フ意味デアリマスカ、政府ガ協定ト云フコトヲ案ニ出サレトコロヲ承デ置キタイ、ソレデ計算ガ持テラカドウカ政府ノ考ヲ聽キタイノデアリマス

○政府委員山之内一次君 唯今ノ御尋ネニ付テ御答ヲ致シマスガ、ドウ云フ方法デ、ドウ云フコトデ協定スルカト云フコトデアルガ、茲デ發表スルコトハ出來ナイ積リデアリマス、ソレデ先刻來度々御話ヲ致シマス通り、一番低イ所ハ一番高イ所ト其中間トノ之ヲ以テ大體ニ於テ、斯ウナルト云フコトガ出シテアルデス、所デ是ハ多少互ニ主張スルトコロモアリマセウシ、其間ニ掛引モアリマセウカラ、直チニドウ云フ直段デヤルト云フコトヲ御話スルコトハ出來カネマス

○西村眞太郎君 尙ホ續イテ御問ヒ致シマス、協定スルト云フ意味ハ、多少事實計算ヨリ高ク買フト云フ意味デアルカドウカ、若シ果シテ高ク買フト云フ意味ナレバ、事實計算ヨリ實際ハ買收價格ガ上ルデアラウ、買收價格ガ騰ルト利率ガ減ジマス、サウスレバ事實經濟ガ持テナクナル、其邊ハドウ云フ御考デスカ

○政府委員山之内一次君 協定スルト云フ精神ハ、此前ニ御話ヲ致シマス通り、二十倍ニ充タヌモノヲ實際見テ見マス、殆ド唯取リマス位、大体カラ申シマス性質ノモノニ向ッテハ、多少餘地ヲ與ヘナケレバナラヌ關係ガアラウト思ヒマス、二十倍ト云フ最低デハ無理ニナルト云フ場合ガアラウト思ヒマス、協定スルト云フ意味ニナリマス、サウスルト御話ノ通り多少益金ニ付イテハ減ズルコトハ勿論ノ話デ、折半ヲシタ場合ニハ、是丈ニナル、建設ノ最極度ハ是丈ニナルト云フコトヲ參考書ニ出シテ居ルデアリマス

○西村眞太郎君 サウスルト協定價格ヲ以テ買フトスレバ、利率ガ減ズル、利率ガ減ズレバ經濟ガ持テナクナルト云フ考カ、經濟ノ點カラ云フト、經濟ガ持テナクナルト云フ考

ガ附イテ居リマス

○政府委員山之内一次君 經濟ガ持テナクナルト云フ意味ハ能ク分リマセヌガ、全體デ統一スルト斯ウ云フ經濟ニナル、即チ相當デ是丈ノ價格デ買ヘバ、是丈ニナル、若シ特別會計ニシテ甲デ云ヘバ斯ウ云フ風ニナル、乙デ云ヘバ斯ウナル、丙デ云ヘバ斯ウナルト云フコト、經濟ガ持テナクナルト云フコトハ、ドコマデノ範圍デアリマス、或年限ノ後ニハ元利ノ償却ガ出來ル譯ニナッテ居リマス

○委員長長谷場純孝君 是ニ於テ御諮リ致シマスガ長君ノ動議モゴザイマスガ、此鐵道國有法案ノ質問會ハ、凡ソ是デ止メ置イテ、サウシテ明日カラ討論ニカ、ラウト云フコトハ、曩ニ御同意デアッタガ、マダ京釜鐵道ノ大體ニ付イテ御質問ガアレバ、京釜鐵道ノ質問ニ移リタイト思ヒマスガ、如何デスカ

○鈴木久次郎君 質問終結ト云フコトデゴザイマスガ、先刻來大藏大臣ニ向ッテ質問シタコトナドハ、未ダ答辯ヲ得テ居ラナイ、明日尙質問ヲ繼續シテモ宜シイト云フコトナレバ宜シイガ、サモナイト困リマス

○委員長長谷場純孝君 尙請求シテ置キマス

○加藤政之助君 參考書ヲマダ貰ッテ居リマセヌノデ、參考書ヲ貰ッテ、其上デ尙質問スルコトヲ得ルト云フ條件ニシタイ

○委員長長谷場純孝君 自カラ必要ナ質問ガアッタラ、ヤダモ宜シウゴザイマセウ、參考書モ今御配付シマス、明日ハ討論ニ移ラウト思ヒマスカラ——明日ハ唯今委員長ノ手許マデ通知ガゴザイマスガ、本會ニ相當ノ日デアリマスケレドモ、議案ノ都合デ本會ハ止メルサウデゴザイマスカラ、明日ハ午後マデ掛ッテ本案ヲ結了シタイト思ヒマス

○村松龜一郎君 京釜鐵道ノ方デ一ツ聞キタイコトガアリマス、京釜鐵道ハ申スマデモナク朝鮮政府ノ許可ヲ經テ、朝鮮政府ノ下ニ營業スルモノデアリマスカラ、日本ノ自由ニハナルマイト思フ、此會社ガイヤダト云ヘバ買ヒ能フコトハ餘程ムヅカシイト思フ、若シ會社ガ賣ルコトヲ肯ジナイトキハドウナサル思召デスカ

○政府委員仲小路廉君 是ハ總テ我國法ノ下ニ立ッタモノデ、内國ノ分ト違ヒマセヌ

○村松龜一郎君 朝鮮政府カラ得タ權利デアリマセヌカ

○政府委員仲小路廉君 此京釜鐵道會社ト云フモノハ、是ハ我國法ノ下ニ立ッタ會社デス、國內ノ分ト少シモ變リハナイ譯デアリマス

○委員長長谷場純孝君 今日ハ是デ散會シマス、明日ハ午前九時カラ委員會ヲ開キマス

午後三時十五分散會

明治三十九年三月十五日印刷

明治三十九年三月十六日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局